

## 1人1台端末活用推進事業 実施報告書

学 校 名	岡山県立岡山操山高等学校	校長氏名	武内洋二
-------	--------------	------	------

### 1 研究主題

#### (1) 学校における研究主題

「すべての人が身体的、精神的、社会的に幸福“Well-being”な社会の実現」を目指し、自ら課題を見だし、その解決に向けて、主体的に行動し、責任をもって社会変革を実現していく力を備えたグローバル・リーダーを育成することを目指す。

#### (2) 研究主題設定の理由

本校は平成27年度よりSGHの指定を受け、5年間グローバル人材の育成を目指した研究開発を行った。この事業を通して、「課題研究」「教科研究と授業改善」「国際交流」を3本柱として取り組み、令和3年度から学びのネットワークを広げるWWL（ワールドワイド・ラーニング・コンソーシアム構築支援事業）の指定を受けた。

その生徒像を実現するのに必要な資質・能力等を多面的に捉え、次の6つの資質を設定し、「社会の多様性への理解の促進」「課題研究の充実」「高度な学びの推進」の3つの活動を通してこれらの資質・能力を育成する。

(認知的スキル)

- ①「幅広く深い教養」：基本的な認知能力（パターン認識、処理速度、記憶力）
- ②「課題発見・解決能力」：知識の獲得（探究、取り出し、解釈）
- ③「新たな価値を創造する力」：知識の推察（熟考、推論、概念化）

(非認知的（社会情緒的）スキル)

- ④「主体的に行動する力」：目標達成（忍耐力、自己制御、目標への情熱）
- ⑤「他者と協働する力」：他者との協働（社会性、尊重、思いやり）
- ⑥「自他を尊重する心」：感情の管理（自尊心、楽観性、信頼性）

#### (3) 研究の内容

上記の校内外における学びのネットワーク構築と授業改善の取組の一つの手段として、本校ではChromebookを1人1台保有し、学びの新しい形を模索していく。

#### (4) 結果の検証方法

- ①GPS-Academicの実施による学びの資質・能力の変化
- ②6つの資質・能力に関するアンケートの実施とインタビューや自由記述内容による生徒の変容
- ③外部評価委員（アドバイザースタッフ：大学教員等）からの評価

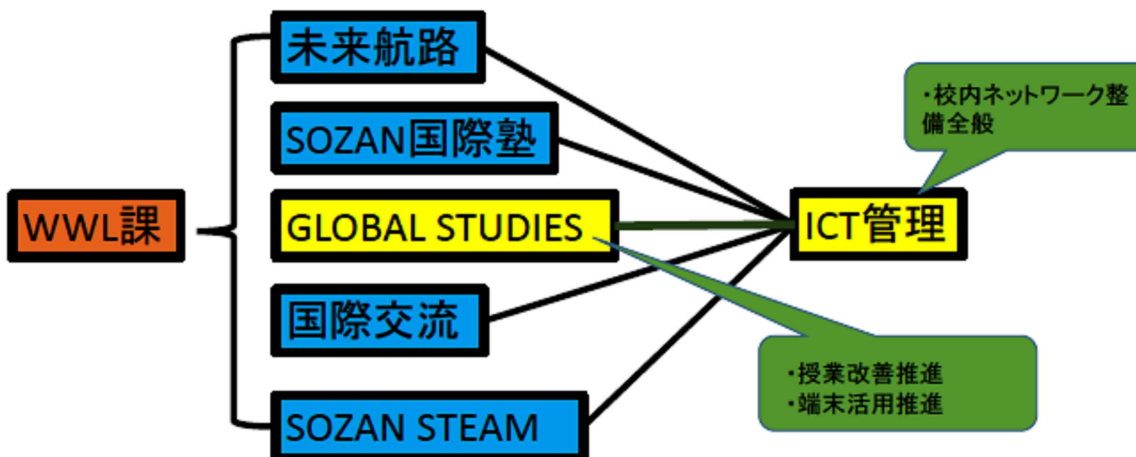
## 2 研究体制

- ①WWL課を設置し、GLOBAL STUDIESというセクションの中で研究・実践を行う。指導教諭をチーフに、主幹教諭、各教科主任、ICTセクションのチーフで構成する。
- ②本校で育成する6つの資質・能力の育成を目指した到達度目標表「SOZAN Global Can-do List」をすべての教科で作成し、授業改善を行う。
- ③すべての教科で県総合教育センター・岡山大学・ノートルダム清心女子大学・岡山理科大学にアドバイザースタッフを依頼し、授業改善やChromebookの効果的な活用について指導していただく。

## 3 実施詳細

### (1) 校内組織の整備

分掌組織を見直し、WWL課の設置に伴い、授業改善とICT環境整備の役割を明確にし、次のように組織の改編を行った。



ICT機器の活用を授業改善のセクションに取り込むことで、単に「端末を使用する」ことが目的ではなく、普段から使用場面を考え、授業のねらいに応じた効果的な使用をめざすことができるようになった。

### (2) SOZAN Global Can-do Listの作成

(全教科科目による6つの資質・能力に合わせた到達度目標表の作成)

授業者がやみくもに端末の活用を追求するのではなく、育てる生徒像をイメージしながら授業の中で活用していくために、このリストを共有することは不可欠である。これを実現するためには、この6つの資質・能力をどのように授業に落とし込んでいくかが鍵となる。

リストの作成については、昨年度、本校の「目指す生徒像」と「育成する6つの資質・能力」をベースに新学習指導要領の3観点との関連性を考えながら、各教科に落とし込めるように「解釈」し(図1、図2)、各教科での到達度目標作成に入り、1年かけて完成させた。

(図1)

目指す生徒像(全体)	「すべての人が身体的、精神的、社会的に幸福(“Well-being”)な社会の実現」を目指し、主体的に行動し、責任を持って社会変革を実現していく力を備えたグローバル・リーダー					
育成する資質能力	認知的スキル			非認知的スキル(社会情緒的スキル)		
	幅広く深い教養	課題発見・解決能力	新たな価値を創造する力	主体的に行動する力	他者と協働する力	自他を尊重する心
具体的資質	・基本的な認知能力	・知識の獲得	・知識の推察	・目標達成	・他者との協働	・感情の管理
	(パターン認識)	(探究)	(熟考)	(忍耐力)	(社会性)	(自尊心)
	(処理速度)	(取り出し)	(推論)	(自己制御)	(尊重)	(楽観性)
	(記憶力)	(解釈)	(概念化)	(目標への情熱)	(思いやり)	(信頼性)
学指導要領との関連	☆知識・技能	☆知識・技能				
		☆思考力・判断力・表現力	☆思考力・判断力・表現力	☆思考力・判断力・表現力	☆思考力・判断力・表現力	☆思考力・判断力・表現力
			☆学びに向かう力	☆学びに向かう力	☆学びに向かう力	☆学びに向かう力
OECD教育との関連	●知識	●知識				
	●スキル	●スキル				
			●態度・価値	●態度・価値		
			●予測・振り返り・行動	●予測・振り返り・行動	●予測・振り返り・行動	●予測・振り返り・行動
			●新たな価値を想像する力・責任ある行動をとる力・対立やジレンマを克服する力			
		●批判的思考力・創造的思考力・学び方を学ぶ・自己調整力			●共感・自己効力感・協働性・社会性	
UNESCO教育(ESD)との関連					○持続可能な開発に関する「価値観」	○持続可能な開発に関する「価値観」
		○体系的な思考力	○体系的な思考力			
		○代替案の思考力	○代替案の思考力			
	○データや情報の分析能力	○データや情報の分析能力			○コミュニケーション能力	○コミュニケーション能力
				○リーダーシップの向上		

(図2)

目指す生徒像(全体)	「すべての人が身体的、精神的、社会的に幸福(“Well-being”)な社会の実現」を目指し、主体的に行動し、責任を持って社会変革を実現していく力を備えたグローバル・リーダー					
育成する資質能力	認知的スキル			非認知的スキル(社会情緒的スキル)		
	自身が所属する社会の幸福を実現することができる			自他の幸福を創造し続けることができる		
	幅広く深い教養	課題発見・解決能力	新たな価値を創造する力	主体的に行動する力	他者と協働する力	自他を尊重する心
具体的資質	・基本的な認知能力	・知識の獲得	・知識の推察	・目標達成	・他者との協働	・感情の管理
	(パターン認識)	(探究)	(熟考)	(忍耐力)	(社会性)	(自尊心)
	(処理速度)	(取り出し)	(推論)	(自己制御)	(尊重)	(楽観性)
	(記憶力)	(解釈)	(概念化)	(目標への情熱)	(思いやり)	(信頼性)
解釈	グローバルな課題を理解できる国際的な素養がある	グローバルな視点で課題を発見し、論理的に解決策を考え、発信することができる	既存の価値を融合し、自由な発想で新しい価値軸を創ることができる	目標に向かって自主的に考え、自律的に判断し、決断したことに基づき誠実に実行し続けることができる	自己を理解し、自立した人間として、他者と共に心を通じ合わせてよりよい社会の実現を目指すことができる	社会における自己を認識し、自他の存在意義を認めることができる
各教科との関連	▲教科書・関連素材の理解	▲学習事項の内在化	▲応用・紐付け	▲自己評価・振り返り ▲計画的・学習調整	▲グループワーク ▲ペアワーク	▲楽しい ▲充実感
国語	★	★	★	★	★	★
地歴・公民	★	★	★	★	★	★
数学	★	★	★	★	★	★
理科	★	★	★	★	★	★
保健体育	★	★	★	★	★	★
芸術	★	★	★	★	★	★
外国語	★	★	★	★	★	★
家庭科	★	★	★	★	★	★
情報	★	★	★	★	★	★
総合的な探究の時間	★	★	★	★	★	★

これをもとに、各教科で具体的な到達度目標を設定し、リストを作成した。年度当初各教科で学習ガイダンスを行い、その授業でのねらい、目標を共有し授業をスタートさせた。なお、このリストは冊子にし、職員全体で共有している。(巻末資料)

### (3) 教科主題の設定と指導助言者(アドバイザー・スタッフ)

SOZAN Global Can-do Listを活用した授業改善を行うために、教科主題を設定し、教科内で目標を共有し、指導助言者の先生方から授業改善の観点に立った意見をいただいた。各教科の主題とアドバイザー・スタッフは次の通りである。

教 科	教 科 主 題	指 導 助 言 者 ( 敬 称 略 )
国 語	Global Can-do List を活用した 授業改善の取組	ノートルダム清心女子大学文学部 教 授 伊 木 洋
社 会 地歴公民	Sozan Global Can-do-List を活用し た授業の展開と評価	ノートルダム清心女子大学文学部 教 授 森 泰三
数 学	授業で育てる資質を踏まえた 課題学習における教材開発	岡山大学大学院教育学研究科 教 授 岡 崎 正和
理 科	効果的な仕掛けづくりの開発	岡山大学大学院教育学研究科 特任教授 三宅 正志
保健体育	自ら進んで問題解決に取り組む姿 勢を育てる研究	環太平洋大学体育学部 講 師 齋 藤 祐一
芸 術 (美術)	グローバル・リーダーの育成に向 けた取組 ～主体性を持って多様な人々と協 働して学ぶ態度の育成～	岡山大学大学院教育学研究科 教 授 清 田 哲男
英 語	技能と教養をバランスよく伸ばす 指導法の研究 ～生徒の振り返りを活用した授業 改善～	岡山大学学術研究院教育学域 特任教授 高塚 成信

#### (4) 教育研究会（公開授業）の実施

この教科主題を掲げ、各教科が次の日程で公開授業を行った。校内外あわせて、158名の参加があり、様々な観点から今年度の取組を振り返ることができた。特に、1人1台端末の活用に関しては、授業の中での活用だけでなく、生徒の振り返りを蓄積したデータを活用して授業改善につなげる取組など、いろいろな視点からの活用が紹介された。

(●印は端末を授業で活用した公開授業、★印は蓄積データを活用した取組)

教科	実施日	授業者（対象・科目）
国語	9月24日（金） 10月22日（金）	頓宮 佳子（中学2年・国語）● 遠藤 摂夫（高校1年・国語総合：古文）● 大久保 達也（高校2年・現代文）●
社会 地歴・公民	2月14日（月） （中止）	小池 毅（高校1年・世界史A）●
数学	11月18日（木）	尾川 晃平・奥村 剛士（中学2年・数学）● 川北 将司（高校1年・数学A）●
理科	11月12日（金）	塩飽 修身（中学3年・理科）
保健体育	11月11日（木）	岡本 則清（高校1年・保健）●
芸術 （美術）	11月 5日（金）	八木 真喜子（中学2年・美術）
英語	6月25日（金） 11月 5日（金） 2月10日（木） （中止）	斎藤 広章（高校3年・コミュ英Ⅲ：発展） 西澤 寛・松原 弓子（中学2年・英語）● 山本 浩史（高校2年・コミュ英Ⅱ：標準）★ 安藤 博巳（高校2年・英表Ⅱ：標準）★ ワウディ・デイビッド（高校2年・英表Ⅱ：発展）● 山本 浩史（高校2年・英表Ⅱ：発展）●

## （5）各教科の指導案と振り返り（操山論叢より抜粋）

### ①国語

第1学年4組 国語科学習指導案  
令和3年9月24日（金）第3校時 1－4教室 指導者 遠藤 摂夫

- 1 単元名 歌の心を見つけよう—J-popと『百人一首』のコラボ  
（題材）（課題曲 YouTubeあいみょん「裸の心」他16曲&百人一首）
  - 2 単元の目標（新学習指導要領「言語文化」の指導事項に即して）
    - 現代の歌詞と百人一首を比較することによって、言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解することができる。 [知識及び技能（1）ア]
    - 歌詞や百人一首に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈することができる。 [思考力、判断力、表現力等B読むこと（1）イ]
    - 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。 [学びに向かう力、人間性等]
- ◎関連するGlobal Can-do List（新たな価値を創造する力、他者と協働する力）

### 3 単元の評価基準

知識及び技能	思考力, 判断力, 表現力等	主体的に学習に取り組む態度
○現代の歌詞と百人一首を比較することによって, 言葉には, 文化の継承, 発展, 創造を支える働きがあることを理解している。	○歌詞や百人一首に表れているものの見方, 感じ方, 考え方を捉え, 内容を解釈することができる。	○言葉がもつ価値への認識を深めるとともに, 生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ, 言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。

### 4 指導と評価の計画 (全6時間)

	主な学習活動	評価基準及び評価方法
第1次 第1時	* 単元設定の理由を聞き, 課題曲一覧を見る。 * 教師の模範例 (松山千春「長い夜」&百人一首3番)の解説を聞き, 歌詞の解釈の基本と百人一首を組み合わせる際の着眼点を知る。	* 課題曲に興味を持ち, 意欲的に自分も百人一首との組み合わせを探ってみようとしている。 (観察・振り返り記述)
第2時	* 課題曲と百人一首のコラボ案を個人で3つ(理由含む), classroom の限定公開に提出する。	* 案を3つ提出している。また, コラボの理由も充実している (限定公開の記述)
第2次 第1時	* 5人班で発表する課題曲と百人一首のコラボ案を決定し, jamboard に提出する (早い者勝ちシステム) * 指導者の審査に合格した班は各自スライドによる資料作りに進む。(jamboard のふせんが赤に変わる)	* 他者と協働して話し合いが行えている (観察) * 歌詞や百人一首に表れているものの見方, 感じ方, 考え方の共通点や相違点を正確にとらえている (観察・発表資料)
第2時	* 発表順等の決定 (4班×2, 1班7分, 相互評価2分) * 質問班の決定 (1番目⇒5番目の要領で) * classroom 上の参考資料を参照して発表資料をスライドで作成する。	* ネットでは得られない読書の意義を実感している。 * スライドの共有によって協働的・効率的に資料作成している
第3次 第1時	* 前半4班の発表 (各班7分) と質問 (各2分) 及び form による相互評価及び意見等の記述 (各2分) ① (G班: 課題曲6「お勉強しといてよ」&百人一首51 さしも知らじな燃ゆる思ひを) ② (C班: 課題曲12「三日月」&百人一首53 嘆きつつひとり寝る夜の明るる間は) ③ (B班: 課題曲7「アイネクライネ」&百人一首50 君がため惜しからざりし命さへ) ④ (A班: 課題曲3「ドライフラワー」&百人一首42 契りきなかたみに袖をしばりつつ) * 次時及び単元の振り返り準備	* 歌詞や百人一首に表れているものの見方, 感じ方, 考え方の共通点や相違点を正確にとらえている (発表内容) * 発表をよく聞き, 自分なりに精確に評価しようとしている (観察・form の記述) * 質問や form への記述を通して他者との交流を図っている。 (観察・form の記述)
第2時	* 後半4班の発表 (各班7分) と質問 (各2分) 及び	* 歌詞や百人一首に表れている

【本時】	<p>form による相互評価及び意見等の記述 (各2分)</p> <p>⑤ (H班：課題曲5「ノンフィクション」&amp; 百人一首 56 いまひととびの逢ふこともがな)</p> <p>⑥ (F班：課題曲1「裸の心」&amp; 百人一首 41 人知れずこそ思ひそめしか)</p> <p>⑦ (E班：課題曲3番「ドライフラワー」&amp; 百人一首 86 嘆けとて月やはものを思はする)</p> <p>⑧ (D班：課題曲1番「裸の心」&amp; 百人一首 46 行方も知らぬ恋の道かな)</p> <p>* 単元全体の振り返り (ドキュメント2枚) の評価規準 (ルーブリック) について指導者の指示を聞く</p>	<p>ものの見方, 感じ方, 考え方の共通点や相違点を正確にとらえている (発表内容)</p> <p>* 発表をよく聞き, 自分なりに精確に評価しようとしている (観察・form の記述)</p> <p>* 質問や form への記述を通して他者との交流を図っている。 (観察・form の記述)</p>
------	--	--

## 5 指導上の立場

### 《生徒の実態》

家庭における予習は十分とは言えないが、授業に取り組む雰囲気は前向きで、古典に興味を持ち親しむ態度は育ちつつある。日々の学校生活や学習活動の中でペアワークやグループ活動に取り組む姿勢は積極的で、それを地道な「定着」や「本文との格闘」にどうつなげていくかが課題である。

数編の説話と徒然草を教材とした1学期までの学習は、一方で文法学習にも重点を置かねばならず、教師作成の文法テキスト (古文can-doリスト) にいくつか百人一首 (33・41・56) が出てきた他は、生徒は「和歌」にはまだふれていない。夏休みの補習で一通り助動詞の文法学習を終えた今、次の単元には「伊勢物語」を予定しており、ぜひ「和歌」とのよい出会いを演出したいところである。

その一方で、8月下旬から9月中旬までは「体育祭」「文化祭」で盛り上がり、生徒もその準備に全力を傾注する時期であり、ダンスやクラスの出し物に関連してJ-popを始めとした「歌」に普段以上によくふれる時期である。落ち着いて教室で古文と「格闘」しにくい季節であるといえるが、これを逆手にとれないものか。単独ではなかなか親しみにくい「百人一首」もJ-popを仲立ちにすれば親しみやすいのではないか。そう考えたのがこの単元の端緒である。

### 《教材について》

文法学習で例文とした百人一首は、関連性という点で自然でJ-popに多い恋歌も多く含むので教材とした。国語便覧に一覧があるので検索も容易である。

一方、問題となるのは百人一首との組み合わせに用いるJ-popの選定である。歌詞そのものの解釈が難しい上に、生徒を奮い立たせるにはある程度「新しい」選曲が必要である。最近、J-popを聞かない自分にとっては「難行苦行」となりかねないが、「歌詞」も立派な「言語文化」であり、優れた歌詞の魅力は大変大きいものであり、その魅力は生徒も必ず発見できると私自身は考えている。前述したように、1年間でこの時期ほどJ-popが校内にあふれる時期はない。歌などほとんど聞かないという生徒もこの時期は例外であろう。そういう意味では、歌詞の魅力に気づかせ、ひいては「歌の心」は昔の百人一首も今の歌詞も同じだという「親しみ」を生徒たちに持たせるのには絶好の時期である。

課題曲の選定は、生徒の意欲を喚起しそうな「新しさ」と「人気」あるいは古くても詩情あふれるもの及び「百人一首」との共通点の見いだしやすさの観点から下記の16曲を選定した。

課題曲としては次の16曲を予定している。( ) の中は組み合わせが期待される百人一首。

1. あいみょん「裸の心」【2020】(46番 行方も知らぬ恋の道かな)
2. Official髭男dism「イエスタデイ」【2019】(20番 身を尽くしても逢はむとぞ思ふ)
3. 優里「ドライブフラワー」【2020】(44番 逢ふことの絶えてしなくは)
4. いきものがかり「風が吹いている」【2012】(2番 衣ほすてふ 天の香具山)
5. 平井堅「ノンフィクション」【2017】(56番 いまひとたびの逢ふこともがな)
6. ずっと真夜中でいいのに。「お勉強しといてよ」【2020】(14番 乱れそめにし我ならなくに)
7. 米津玄師「アイネクライネ」【2014】(39番 あまりてなどか恋しかるべき)
8. 瑛人「香水」【2019】(35番 花ぞ昔の香にほひける)
9. MISIA「アイノカタチ」【2018】(13番 恋ぞつもりて淵となりぬる)
10. 中島美嘉「雪の華」【2003】(15番 わが衣手に雪は降りつつ)
11. YOASOBI「夜に駆ける」【2019】(80番 長からむ心も知らず)
12. 絢香「三日月」【2006】(7番 三笠の山に出でし月かも)
13. back number 「高嶺の花子さん」【2013】(51番 さしも知らじな燃ゆる思ひを)
14. aiko「カブトムシ」【1999】(54番 今日を限りの命ともがな)
15. 中森明菜「難破船」【1987】(45番 身のいたづらになりぬべきかな)
16. uru「あなたがいることで」【2020】(77番 われても末に逢はむとぞ思ふ)

## 6 本時案

本時案 (第三次の第2時)		
目標	○歌詞や百人一首に表れているものの見方, 感じ方, 考え方を捉え, 内容を解釈することができる。 [思考力、判断力、表現力等B読むこと (1) イ]	
学習活動	指導・支援上の配慮事項など	評価基準・方法など
1 本時の目標の確認	*歌詞や百人一首に表れているものの見方, 感じ方, 考え方の共通点や相違点を正確にとらえることができる (発表内容)	
2 後半4班の発表 ⑤ (H班: 課題曲5「ノンフィクション」& 百人一首56いまひとたびの逢ふこともがな) ⑥ (F班: 課題曲1「裸の心」& 百人一首41人知れずこそ思ひそめしか) ⑦ (E班: 課題曲3番「ドライブフラワー」& 百人一首86嘆けとて月やはものを思はする	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相互評価form4組2日目用をclassroomに投稿しておく。</li> <li>・発表時間7分。各班のchromeをつなぐうまく映らない場合、ミラーリングをチェックする。</li> <li>・質問の時間を設ける (2分) 前回発表済の班が質問班。それ以外の班から質問が出ればなしでもよい。</li> <li>組合せ ⑤H班⇔①G班 ⑥F班⇔②C班 ⑦E班⇔③B班 ⑧D班⇔④A班</li> <li>・時間管理は教員が行う (タイマー準備)</li> <li>・form記入時間は2分を目安とする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>*歌詞や百人一首に表れているものの見方, 感じ方, 考え方を根拠とともに示し, その共通点や相違点を十分にとらえることができている (A)</li> <li>*歌詞や百人一首に表れているものの見方, 感じ方, 考え方を根拠とともに示し, その共通点や相違点を適切にとらえることができている (B)</li> </ul>



<p>⑧ (D班：課題曲1番「裸の心」 &amp;百人一首46行方も知らぬ恋の道かな)</p> <p>3. 単元のまとめにあたるformの問いに答え、単元の振り返りについての指導者の説明を聞く</p>	<p>次に発表する班は記入しない。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・単元全体のまとめにあたるformの問いに答える。(活動を楽しめたか・印象に残った発表・百人一首に親しみを持てたか等)</li> <li>・振り返りについての評価基準を確認する。他班の発表や百人一首全体への視点が深いとより高評価となることを確認する。</li> <li>・分量はA 4 2枚。百人一首の資料等を参考に記入してよいことを告げる。</li> </ul>	<p>*歌詞や百人一首に表れているものの見方、感じ方、考え方を根拠とともに示すことができず、その共通点や相違点を適切にとらえることができていない (C)</p> <p>Cと判断される発表に対しては、生徒の相互評価をスプレッドシートにまとめて示す際に、限定公開で個別に根拠として示すべき箇所や共通点・相違点の捉え方について指導者自身のコメントを返す</p>
--	---	---

★生徒の振り返り（ドキュメント2枚）に対する評価規準（各項目A十分B適切C不十分である）

1. 百人一首と現代歌詞を分析することによって、和歌に親しむ態度が十分うかがえる
2. 課題曲・和歌の解釈・組み合わせの理由が十分書けている
3. 班での話し合い・他班の発表等からどういう気づき・知見を得たかが十分書けている

【振り返り】：「一人一台端末として本校が導入しているChromebookの活用効果は、指導案の指導観で期待した通りのものが見られた。特に、紙媒体なしで全員の意見文を閲覧できるので、本授業のようなグループでの共有にとどまらず、様々な授業展開の可能性があると感じた。書くテーマとして教材文と同じ「はかる」ことを設定したが、都道府県魅力度ランキングなどの時事問題に触れたり、科学に倫理的視点から疑問を投げかけたりする生徒もおり、自分の科学論を持つきっかけになっていた。ただ、生徒の中には、書くことがなかなか浮かばない生徒もおり、「はかる」という統一テーマで書かせることの難しさもあった。さらに、今回の目標として、書き手としての意図を持って、内容や表現を工夫するということも設定した。そのため、意見文だけでなく、書き手としての意図を説明させた。読み手に与える印象を考えて書き出しを工夫したり、読み手にとって馴染みのある具体例を考えたり、印象的な一文をまとめに使ったりするなど、高校生という読み手を想像して意識的に書くことができていた生徒が多かった。課題としては、本時内で生徒同士の意見交換ができなかったことである。どのような点が伝わり、また伝わらなかったのか、書き手の想定していない読み手の反応を対面でやりとりする時間が、書き手としての学びを深めていく。本時内にこの時間が充分とれなかったのが残念であった。

授業後の研究協議では、ICT を活用した書くことの指導の一つのモデルとして評価された。しかし、活動が成立してしまう分、指導学年に合わせた内容や目標の設定がいつそう大切になる。また、一人一台端末の導入によって、学校だけでなく、あらゆる場所で学習可能になっており、授業という人が集まる場で何をすべきなのか、対面でのコミュニケーションや、意見をすり合わせて対話していく時間の設定が求められるという意見もあった。書くことの指導については、従来と変わらず、テーマ設定が自分事であるかどうか、実の場が設定されていたかどうか議論となった。その意味では「はかる」という統一テーマに必ずしもこだわる必要はないという意見

も上がった。さらに、評価基準も、今回のような文章としての善し悪しを評価する一般的なものではなく、学習者の目標に合わせた基準設定が必要であると感じた。」

②地歴・公民

<p>地歴公民科（世界史A）学習指導案</p> <p>岡山県立岡山操山高等学校 普通科 1年7組</p> <p>令和4年2月14日（月）第3校時 1年7組教室</p> <p style="text-align: right;">指導者 岡山操山高校 教諭 小池 毅</p>	
題 材	<p>『世界史A新訂版』（実教出版）</p> <p>第2節 第一次世界大戦とロシア革命                      2 第一次世界大戦</p>
目 標	<p>第一次世界大戦とその後の世界を意欲的に追究している（関心・意欲・態度）</p> <p>第一次世界大戦の経過や結果をもとに、過去の戦争と比較しながら考察することでその性格を適切に考察・表現している（思考・判断・表現）</p> <p>総力戦となった第一次世界大戦に関する資料を読み取り、当時の社会の状況を考察し共有できている（資料活用技能）</p> <p>ヨーロッパの国際関係を背景に、第一次世界大戦を理解しその知識を身につけている（知識・理解）</p>
指導上の立場	<p>生徒の実態</p> <p>本クラスは普通科（男子20名、女子20名）である。17名が県立操山中の出身のため調べ学習やグループ討議などの経験は多く、日頃から積極的に発言し授業に対して前向きな姿勢で臨むことができる集団である。しかし様々な知識を活用して、歴史的出来事の背景や関連を考察できている生徒はわずかである。</p> <p>題材感</p> <p>総力戦となり世界各国を巻き込むこととなった第一次世界大戦は、その後の国際秩序を大きく変化させ、各国内では社会の大衆化が加速することになる。この大きな転換点を戦争の勃発から社会の変化までを一つの流れとして扱いたい。そのため、この授業ではロシア革命には軽く触れるにとどめる。</p> <p>本題材で工夫する点や手立て</p> <p>本来であれば生徒の活動を優先し、授業者の説明は省くべきかもしれないが知識量と進度を担保するためにそのような構成にできかねている。また、生徒は戦争を実感することができにくいと考え、ネット動画を視聴させることにした。しかし授業時間内に視聴させる時間を確保することが困難なため反転学習の形態をとり、事前の課題とした。生徒自身の考察を深めるためペアワークの形態をとることを考えたが、コロナウィルスの感染対策のためJambordを用いての意見交換とすることにした。</p>

指導と評価の計画	主な学習活動	具体的な評価基準と評価方法
	第一次 第一次世界大戦…4時間 第1次 緊迫する国際関係 第2次 第一次世界大戦 (本時) 第3次 ヴェルサイユ ・ワシントン体制 第4次 大戦後のヨーロッパ諸国	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指示された動画を視聴して第一次世界大戦の経過をまとめ、提出することができる。(関心・意欲・態度)</li> <li>・既習の知識を活用しながら、第一次世界大戦を性格を掴み、表現・共有しようとしている。(思考・判断・表現)</li> </ul>

本時案 (第一次第2時)		
目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・20世紀初頭のヨーロッパ諸国の国際関係を把握し、第一次世界大戦の勃発と戦況についての資料の内容を読み取ることができる。(資料活用の技能)</li> <li>・第一次世界大戦の性格とその影響について自らの意見を述べることができる。(思考・判断・表現)</li> </ul>	
学習活動	指導・支援上の配慮事項など	評価基準・方法など
1 本時の流れを聞き、目標を把握する (2分)	スクリーンに投影し、本時のめあてと流れを示す	事前にClassroomで取り組み状況を確認しておく (関心・意欲・態度)
第一次世界大戦の詳細を理解し、その性格と大戦が与えた影響について考察し、自分の分析にもとづき意見を述べるができる		
2 開戦からの戦況について整理する (25分)	Classroomを開き、NHK高校講座、EPIC HistoryTVの映像を見て整理したワークシートを確認させながらノートをとらせる アフリカや南太平洋地域にも戦争が拡大していることに気づかせる	第一次世界大戦の勃発 (3:45) 兵器の発達と総力戦 (5:08) <a href="https://www.nhk.or.jp/kokozu/tv/sekaishi/archive/chapter030.html">https://www.nhk.or.jp/kokozu/tv/sekaishi/archive/chapter030.html</a> EPIC History TV-YouTube The World at War-1914 (12:09) <a href="https://www.youtube.com/watch?v=PbwH1ZBnYds#EpicHistoryTV#WorldWarOne">#EpicHistoryTV#WorldWarOne #W</a>
3 総力戦について資料集の記事を使用して理解を深める (5分)	戦争の長期化が、大量殺戮兵器の投入や、植民地の資源や民衆を戦争に引き入れたことに気づかせる 秘密外交については、次々回の授業で	

	取り上げる	W1
4 戦争の終結について整理し大戦後の世界の変化について知る (5分)	ロシアの動向、ヴェルサイユ体制等については、次回の以降の授業で取り上げることを説明し、深く説明することを避ける	
5 大衆の政治参加と女性の社会進出について、グラフを見て分析する (3分)	Google Jamboardを使って、班ごとに分析、共有させる ヨーロッパ諸国と日本の違いに注目させる	
6 第一次大戦がそれ以前の戦争と大きく異なる点について考察する (5分)	Google Jamboardを使って、班ごとに相違点を考察、共有させる 一つの班のJamboardをとりあげ画面表示し、黒板でまとめる 時間の余裕があればスペインかぜの大流行について触れる	総力戦、第一次・二次大戦と関連させて考察できる (知識・理解)  戦場の拡大、新兵器の導入、総力戦がポイントとして把握できている (思考・判断・表現)
7 Formの小テストで今日の授業をふりかえる (3分)	分析・解説は時間内には行わず、次回の授業冒頭で解答率の低い部分に絞ってふりかえる	
8 次回の課題として「十四カ条」を確認する (2分)	「十四カ条」のPDFを配信し、簡単な読み取り課題を配信・指示する	自動採点により収集されたデータを評価する

【振り返り】：「本年度の研究テーマであった「SOZAN Global Can-do List を活用した授業展開と評価」について、新たな Global Can-do List に沿った授業研究を行い、中・高それぞれの実情に応じた取組を実施し、授業実践に生かすことができた。また、Chromebook を使ってネット検索だけでなく、Jamboard や meet も利用する「協働学習」を展開したり、ルーブリック評価を Google フォームを用いて実施したりするなど、ICT 機器を積極的に活用する取組を進めることができた。

一方、高校新一年生から始まる新教育課程による新科目を適切に実施することが求められる。その上で Global Can-do List の主旨がいかせるような創意工夫が求められる。さらに、Chromebook をより効果的に使った授業実践の研究を行う必要がある。特に、「協働学習」を意識した取組など授業や予復習における生徒の使用場面を拡大することが求められる。中学から高校への学習の連続性をもたせるため中学校でのレクチャーの授業を生かすなど中高の教員間の連携が求められる。



評価 の 計 画	第二次 空間図形 …………… 8時間 第1～4時 直線と平面 第5～8時 空間図形と多面体	て論理的に考察することができる。 (数学的な見方や考え方) <ノート> ・1つの問題に対して、関連する公式や定理を複数使い、解法を構築しようとする。 (※課題解決能力) <ワークシート> ・自分の考えを的確に相手に伝えたり、相手の考えを理解したりして適切にコミュニケーションをとることができる。 (※コミュニケーション能力) <観察> ※Global Can-do List より	
	第三次 課題学習……………2時間 第1時 空間図形と根軸の関係 第2時 震央・震源の特定【本時】		
前 時 案 (第三次の第1時)			
目標	協働学習を通して、空間図形と平面図形の関係性を論理的に考察することができる。 (数学的な技能, 数学的な見方や考え方, コミュニケーション能力, 課題解決能力)		
準備物	教科書(数学A), Chromebook, 筆記用具, 定規, コンパス, はさみ		
	学習活動・内容	教師の指導・支援	準備物・留意事項・評価基準
導入 5分	・ワークシートを受け取る。 1. 本時の学習課題を知る。	・ワークシートを配布する 1. 本時の学習課題を掲示する。 ・立体図形と展開図を提示し、具体的にイメージさせる。	
展開 ① 2 5分	2. 定理の証明方法を学ぶ。 3. 立体図形を作製する。 (1) 三角錐の展開図を作図し立体を作製する。 作図方法を発表する。  (2) 四角錐の展開図を作図し立体を作製する。(ペア活動) 作図方法を発表する。	2. 生徒に発問しながら方べきの定理を用いて定理の証明方法を示す。 3. (1) 机間指導を行い、必要に応じて助言を行う。 立体が作製できた生徒には、作製できていない生徒に教えるよう指示する。 作製できた生徒に発表させ、その内容を確認する。 (2) 底面の四角形に対して点A, Bを頂点とする三角形と同じ長さの三角形を追加しただけでは四角錐を作製することができないということに気付かせる。 三角錐は作製できて四角錐は作製できない理由を考えさせる。	・図形の性質を証明するのに、既習事項を用いて論理的に考察することができる。 (数学的な見方や考え方) ・頂点が底面上にくるように作製させる。 ・自分の考えを的確に相手に伝えたり、相手の考えを理解したりして適切にコミュニケーションをとることができる。 (コミュニケーション能

			力)
展開 ② 1 5 分	<p>3. 三角錐の頂点に集まる点の軌道を考える。</p> <p>(1)展開図に頂点の軌道の正射影を記入する。</p> <p>(2)必ず1点で交わりそうなことを予想する。</p> <p>(3)もう1度三角錐の展開図を書き、底面の各頂点から円を書く。</p> <p>(4)(1)での軌道がそれぞれの円の共通弦であることに気付く。</p> <p>(5)三角錐が作製できたことを利用して四角錐を作製する。</p> <p>作図方法を発表する。</p>	<p>3.</p> <p>(1)軌道の正射影を平面上に記入するだけでなく、空間上で半円を描くことも考えさせる。</p> <p>(2)平面上で1点で交わるのが空間でどのような意味を成すのか考えさせる。</p> <p>(3)(4)定理と三角錐の関係性について考察させる。</p> <p>(5)頂点に注目させ、先に頂点を決めてしまえばいいことに気付かせる。</p>	<p>・平面図形と空間図形の関係性を考え課題解決に結びつけることができる。</p> <p>(数学的な技能, 課題解決能力)</p>
まとめ 5 分	<p>4. 本時の振り返りと次時の予告を知る。</p>	<p>4.</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の学習の要点や気がついたことをまとめさせる。</li> <li>・次回は定理を身近な事象に活用することを伝える。</li> </ul>	
本 時 案 (第三次の第2時)			
目標	協働学習を通して、前時で学んだ定理や性質を身近な事象に活用することができる。 (数学的な技能, 数学的な見方や考え方, コミュニケーション能力, 課題解決能力)		
準備物	教科書(数学A), Chromebook, 筆記用具, 定規, コンパス, (マジック, 発砲スチロール球)		
	学習活動・内容	教師の指導・支援	準備物・留意事項・評価基準
導入 1 0 分	<p>1. 2人班で着席する。</p> <p>ワークシートを受け取る。</p> <p>1 本時の学習課題を知る。</p> <p>2. 震央や震源などの地震についての基本事項を確認する。</p>	<p>1. 2人班で着席させる。</p> <p>ワークシートを配布する。</p> <p>本時の学習課題を掲示する。</p> <p>2. イラストを用いて、震央や震源などの地震についての基本事項を確認させる。</p>	

展 開 ① 2 5 分	<p>3. 震央を特定する</p> <p>(1) 震源と各地点A, B, Cからの距離をそれぞれ求める。</p> <p>(2) 震央をワークシートに作図する。</p> <p>2地点からの距離だけでは震央を特定できないことをTinkerCADを用いて考察する。</p> <p>発砲スチロール球を受け取り、それを用いて考察する。</p> <p>解決できた班は全体に発表する。</p> <p>(3) 3地点からの距離がわかれば震央を特定することができることを考察する。</p> <p>(4) 特定できた班は全体に発表する。</p>	<p>3.</p> <p>(1) 震源からの距離を発問し、解答を確認する。</p> <p>(2) 2地点からの距離がわかれば震央が共通弦上になることを気づかせる。発砲スチロール球を渡し、共通弦が地中にある弧の正射影であることを考察させる。</p> <p>解決できた班に発表させる。(解決できた班がない場合は教員で説明を行う)</p> <p>(3) 机間指導を行い必要に応じて助言を行う。</p> <p>(4) 発表させ、共有させる。また、ほかの班から質問があるか確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Grapesを使って, a, bを変えて震央の移動の規則性を考えさせる。</li> <li>・ TinkerCADのURLをClass roomで配信。</li> <li>・ 準備物…マジック, 発砲スチロール球</li> <li>・ 平面図形と空間図形の関係性を考え課題解決に結びつけることができる。(数学的な技能, 課題解決能力)</li> </ul>
展 開 ② 1 0 分	<p>4. 震源を特定する</p> <p>(1) 4人班をつくる。</p> <p>(2) 震源の深さを2通りの方法で求める。</p> <p>(3) できた班は求め方を発表する。</p>	<p>4.</p> <p>(1) 4人班をつくらせる。</p> <p>(2) 空間をイメージできない生徒については発砲スチロール球を活用させる。また、イラストを再び提示し三平方の定理に気付かせる。早く求められた生徒については、別の解法を考えさせる。</p> <p>(3) 班の状況を観察し、必要に応じてヒントを与えたり指名したりする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分の考えを的確に相手に伝えたり、相手の考えを理解したりして適切にコミュニケーションをとることができる。(コミュニケーション能力)</li> </ul>
ま と め 5 分	<p>5. 本時の振り返りをする。</p> <p>(1) 本時の学習の要点や気がついたことをまとめる。</p> <p>(2) chromebookで Global Can-do List Check (高校数学) を行う。</p>	<p>5.</p> <p>(1) 本時の学習の要点や気がついたことをまとめさせる。</p> <p>(2) Global Can-do List Check (高校数学) を行わせる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Classroomで Global Can-do List CheckのFormsを配信する。</li> </ul>

【振り返り】:「すべての学年において、今までの課題研究に関する研究によって培ってきた経験が積み重ねられてきている。しかし、課題学習の題材は、課題設定に大変な労力を要し、そこから授業を組み立てるのにも多くの時間と労力を要する。当然のことながら、生徒の能力、学習



状況などを見極めながら設定をしていくため、かなりの試行錯誤をしながら課題検討をしていくからである。

研究授業において、グループ学習、生徒の発表活動、ICT機器やクロームブックの活用による教科横断的な学習が実践され、この形の展開も生徒にとっても負担なく取り組んでいると感じている。グループ学習では、互いに自らの考えを数学的に表現し根拠を明らかにしたり説明したりする様子が見られた。中学校では、メインとサブの先生によるティーム・ティーチングでの授業展開がなされ、きめ細やかな指導体制が行えた。

研究授業だけでなく普段の授業においても、Global Can-do List を意識した活動を行っている。グループ活動やICT機器を用いた発表によって、自分の考えを明確に他者に伝えるコミュニケーション能力を養っている。問題に関連する公式・定理を確認し、解法を構築させることで課題解決能力を養っている。自分の持てる知識・技能を活用して、1つの問題に対して複数の解法を考える習慣をつけることにより、数学的な考え方の幅が広がり、問題の切り口を見つける力を養っている。」

#### ④保健体育

保健体育科（保健）学習指導案	
日 時	令和3年11月11日(木) 5校時
場 所	岡山操山高校1年7組HR 男子20名女子20名 計40名
使用教科書	現代高等保健体育(大修館書店)
指 導 者	教諭 岡本則清
助 言 者	環太平洋大学体育学部 講師 齋藤祐一
1 研究授業の目的	
本授業では、WWL拠点校である本校の特徴を活かし、保健の授業においてGoogle Chromeを活用することにより、その効率性や効果がどのように表れてくるかを研究するとともに、課題を明確にし、今後の授業内容の向上を図ることを目的とした。	
2 単元名	
(1) 現代社会と健康 ウ 精神の健康 (ア) 欲求と適応機制	
3 単元目標	
我が国の疾病構造や社会の変化に対応して、健康を保持増進するためには、個人の行動選択やそれを支える社会環境づくりなどが大切であるというヘルスプロモーションの考え方を生かし、人々が自らの健康を適切に管理すること、及び環境を改善していくことが重要であることを理解できるようにする。また、欲求や適応機制、ストレスについて学び、ストレス社会と言われる現代社会の中で、精神の安定のための手段、対処法を知り、自己実現に向かって邁進できる基礎知識を得る。	
4 単元設定の理由	

(1) 教材観

この単元は「精神の健康」ということで、現代社会の課題とも言える単元である。人間には様々な欲求があり、欲求が満たされないときには不安、緊張、悩みなどの精神の変化が現れるとともに、様々な適応機制が働き、精神の安定を図ろうとすることを理解できるようにする。また、精神の健康を保持増進するには、欲求やストレスに適切に対処するとともに、自己実現を図るよう努力していくことが重要であることを理解する。

(2) 生徒観

本校は普通科であり、本クラスは 1年生男子20名、女子20名である。授業には積極的に取り組んでおり、集中して授業に取り組むことができる。発言を求めたときでも積極的且つ理論的に受け答えができる。日頃の生活では保健に対して興味関心を持つ生徒は少ないと考えられるが授業を通して自他の健康に対する意識を高めてもらいたい。

5 評価基準

	関心・意欲・態度	思考・判断	知識・理解
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 欲求や適応機制について自分の経験や考えから、意見を述べたり、グループ活動に意欲的に取り組もうとしている。</li> <li>・ Chromebookを活用し、意見をまとめ積極的に発表ができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 欲求や適応機制について、グループ内で自分の意見を積極的に述べると共に、他の生徒の意見を理解し、自分の意見と比較検討ができ、それを班内で表現できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 人間には様々な欲求があり、欲求が満たされないときには不安、緊張、悩みなどの精神の変化が現れるとともに、様々な適応機制が働き、精神の安定を図ろうとすることを理解する。</li> <li>・ 適応機制との正しい向き合い方について理解する。</li> </ul>

【本時案】

	学習内容	学習活動	指導上の留意点
導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>○挨拶</li> <li>○欲求と適応機制の実例を知る。</li> <li>○本時の目標の</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教師の過去において経験した欲求と適応機制の実話を聞く。</li> <li>・ 欲求と適応機制について学ぶ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全員が起立をし、前を向いているか確認する。</li> <li>・ 教師の話に注目させる。</li> <li>・ 自分の経験とリンクさせながら聞かせる。</li> </ul>

10分	確認。  ○アンケートに答え自分とクラスメイトの現状を知る。	ことを理解する。  ・グーグルフォームのアンケートに答える。 ・アンケート結果を確認し、現状を知る。	・Chromebookを適切に操作させ提出させる。
展開 30分	○欲求と脳の働きを知る。	・欲求は脳辺縁系と脳新皮質の働きとそのバランスによるものであることを知る。  スライド3から7	・スライドに集中し、学習内容を理解させる。 ・積極的にノートをとらせる。 ・脳辺縁系と脳新皮質の働きについて説明し理解させる。
	○様々な欲求について学ぶ	・欲求には生理的欲求と心理的欲求があることを学ぶ  スライド8から11	・青年期では心理的欲求が多様であることを知らせる。 ・社会的欲求と自我欲求について説明する。
	○欲求不満と適応機制について学ぶ	・欲求不満について知る ・適応機制にはさまざまなものがあり、私たちは無意識のうちに活用していることを知る。  スライド12から16	・欲求不満と適応機制について説明する。
	○例題の作成	・自分の経験、または創作により適応機制の例題を作成する。	・他者が不快に思うような内容は作らないよう指導する。 ・一人2題作成させる。
	○グループで例題を出し合い確認する。	・グループで例題を出し合い、その例題がどの適応機制のものかを発問する。 ・その例題がその適応機制のものかをグループ内で検討する ・間違っているものについては訂正する。	・メンバーの例題を尊重した態度で活動をさせる。 ・机間巡視をしながら話し合いの様子を確認する。
	○他のグループ	・グループから例題を一つ発表	他のグループの例題を尊重した

	へ出題する。	させ、他のグループに回答させる。	態度で活動をさせる。
ま と め 10 分	○本時のまとめ  ○小テスト  ○ノート提出  ○挨拶	・欲求不満は誰もがもつものであり、適応機制もまた誰もが活用すつものであることを知る。  ・グーグルフォーム で小テストをする。 ・ノートを写真に撮り教師に送信する。	・Chromebookを適切に操作させ提出させる。

【振り返り】：「授業導入として行ったアンケート調査をChromebookを使うことで、即座にグラフ化されクラスで共有することができた。生徒にとっては大変わかりやすく、且つ迅速にデータを見ることができたことは興味付けの観点から有効な手法であった。知識の伝達においてはグーグルスライドを使用することで授業のスピードをコントロールできるとともにグラフや図形なども活用しやすく、スムーズに展開ができたと考える。グーグルフォームによる小テストでは、毎時間の振り返りとして有効な手法であった。写真撮影によるノート提出では、教師・生徒双方の作業量の削減など、利用価値の高いツールである。

本授業では、導入からまとめに至るまで多くの場面でChromebookを活用した。これにより、合理的且つ効率的に授業が展開されたと考える。しかし、Chromebookの使用頻度が多くなれば必然的に教師の視線はそこに落ちる頻度も高くなり、操作に時間を割く場面も増えていく。指導助言者からは、生徒に伝えるのは機械ではなく教師自身であり、そこにはしっかりと知識と理論のもと、自信に溢れた態度と言葉が不可欠である。今後は、授業の内容に応じて使用目的と頻度を熟考しながら活用するとともに、ICT機器の正確且つ迅速な操作方法の習得が必要である。」

## （6）一人一台端末活用の成果

### ①外国語、理科、数学での活用事例：

各教科でどのように活用しているのか、具体的に授業での活用場面をまとめていただいた。

・外国語

教科	科目	具体的な活用事例	
外国語	コミュ英Ⅱ	活動名	Achievement Check (自己評価)
		活用法	レッスン終了後、google formを使った学習の振り返りを行う
		具体的内容 (指導手順など)	評価項目①Story-retelling / ②Summary / ③Blank-filling / ④Explanation (Pair work) / ⑤Explanation (Pair Work) / ⑥⑦Group Discussion
			自由記述欄をもうけ、具体的な振り返りと次の学習に向けての自己の目標を設定する
			*これらの評価項目に対して、その場で活動を行い、評価規準に合わせて自己評価する *結果について生徒にフィードバックし、他の生徒の振り返りを共有し、次の学習に生かすサイクルを共有する
期待される効果	*生徒のPDCAの確立 *生徒の学習調整・個人内評価 *指導者側の授業改善		
教科	科目	具体的な活用事例	
外国語	コミュ英Ⅱ	活動名	プレゼンテーション(グループ)
		活用法	スライド作成(協働作業) スライドを使用した発表
		具体的内容 (指導手順など)	①Lesson 全体を家で読んでおき、授業でお互いの理解を共有する
			②筆者が伝えたい全体を通してのメッセージや要旨をグループで共有する
			③グループで1つ要旨やメッセージを決め、それについて別の例やサポート内容を考える ④役割を決め発表に備える スライドを協働で作成する (1st Speaker: 司会・グループのトピック紹介 2nd Speaker: 例・サポート 3rd Speaker: 例・サポート 4th Speaker: 結論・Q&A)
期待される効果	自分の理解をシンプルに言い換える力 *協働 *コミュニケーション力の向上 *情報を関連付ける力		
教科	科目	具体的な活用事例	
外国語	コミュ英Ⅱ	活動名	ディスカッション
		活用法	JamboardとDocumentを活用
		具体的内容 (指導手順など)	①Lessonの内容に関連した質問に対する意見を考え、Jamboardに自分の意見を貼る
			②Jamboardにある意見を整理する
			③その内容について話し合いをする
④班で意見をまとめ、Documentに英文を書き、発表する ⑤他のクラスの意見などをすべてまとめて共有する			
期待される効果	自分の意見を相手にわかりやすく伝える力 *協働 *コミュニケーション力の向上		

教科	科目	具体的な活用事例	
外国語	コミュ英Ⅱ	活動名	ディスカッション
		活用法	レッスン終了後、google formを使った学習の振り返りを行う
		具体的内容 (指導手順など)	評価項目①Story-retelling / ②Summary / ③Blank-filling / ④Explanation (Pair work) / ⑤Explanation (Pair Work) / ⑥⑦Group Discussion
			自由記述欄をもうけ、具体的な振り返りと次の学習に向けての自己の目標を設定する * これらの評価項目に対して、その場で活動を行い、評価規準に合わせて自己評価する * 結果について生徒にフィードバックし、他の生徒の振り返りを共有し、次の学習に生かすサイクルを共有する
		期待される効果	* 生徒のPDCAの確立 * 生徒の学習調整・個人内評価 * 指導者側の授業改善
教科	科目	具体的な活用事例	
外国語	コミュ英Ⅰ	活動名	各自の目標設定
		活用法	Google Formを用いて各自の目標設定を記入・提出させる。
		具体的内容	①新しいレッスンに入った最初の授業で、まず全体で目標を共有した後ChromebookでFormを配布し、各自の目標を記入させる。 ③レッスンの最後に行うAchievement Checkで、各自が記入した目標設定に対して達成できたかどうか確認しながらコメントを記入させる。
		期待される効果	* 生徒のPDCAの確立 * 生徒の学習調整・個人内評価 * 指導者側の授業改善

・理科

教科	科目	具体的な活用事例	
理科	物理基礎 化学基礎 生物基礎	活動名	アニメーションwebサイトの紹介・リンク
		活用法	高校レベルでは実験できない内容についての動画やアニメーションを視聴し、理科における現象のイメージを強化させる。
		具体的内容 (指導手順など)	高校レベルでは実験できない内容についての動画やアニメーションを視聴し、理科における現象のイメージを強化させる。
		期待される効果	科学的概念の構築
教科	科目	具体的な活用事例	
理科	物理基礎 化学基礎	活動名	視聴
		活用法	実験の流れ・内容に関する予習教材の事前配付
		具体的内容 (指導手順など)	記録タイマーの原理の説明および実験の流れのスライドを事前に送信し、内容を把握させる。(物理) 実験手順確認(化学)
		期待される効果	実験説明時間の効率化
教科	科目	具体的な活用事例	
理科	物理基礎	活動名	x-t-v-tグラフの作成
		活用法	x-t-v-tグラフの作成
		具体的内容 (指導手順など)	得られた実験データを入力することでグラフが自動作成される。実際に実験書で作成したグラフと比較させ、正しく描かれていることを確認する。 Classroom,スプレッドシート
		期待される効果	紙媒体で作成したグラフが正しく描くことができたかの確認
教科	科目	具体的な活用事例	
理科	物理基礎	活動名	レポートの作成・提出
		活用法	レポートの作成・提出
		具体的内容 (指導手順など)	空想科学における不思議な現象について、その原理について仮説を立てて論理的に説明させる。 Classroom,ドキュメント
		期待される効果	興味を持った不思議な現象について思考→表現させる。専門知識について調べた場合は、引用したサイトを記入させるなど論文作成の練習的
教科	科目	具体的な活用事例	
理科	化学基礎	活動名	配布
		活用法	授業プリントをpdfで配信
		具体的内容 (指導手順など)	授業で使用するプリント、解説プリントをpdfで配信
		期待される効果	板書を写す時間を削減し、思考に時間がかけられる。解説プリントのpdfは後から配信するため、効率よく復習できる。
教科	科目	具体的な活用事例	
理科	化学基礎	活動名	スプレッドシートの共同編集
		活用法	専門用語の辞書を作成
		具体的内容 (指導手順など)	スプレッドシートの共同編集による専門用語の辞書作成
		期待される効果	多くの人が関わり加筆・修正するため、学習が進むと分かりやすい内容のものができる。

教科	科目	具体的な活用事例	
理科	化学基礎	活動名	動画の配信
		活用法	動画の配信
		具体的内容 (指導手順など)	危険な物質や授業であまり扱わない実験の映像を配信する。
		期待される効果	映像を見ることで化学変化を実感できる。
教科	科目	具体的な活用事例	
理科	化学基礎	活動名	データ管理
		活用法	演習量の管理
		具体的内容 (指導手順など)	Libryを用いた演習量の管理。問題を解いて記録をつける。解いた内容を写真で送信。
		期待される効果	記録をつけることができ、教員もできていない部分を把握できるため、個別対応できる。
教科	科目	具体的な活用事例	
理科	化学	活動名	問題の思考のアウトプット
		活用法	夏課題として解説動画作成
		具体的内容 (指導手順など)	課題を、解説する動画をスクリーンキャプチャーで録画し、共有ドライブにあげる。 formで提出した動画はリアルタイムで共有がかけられ、クラスメイトが見ることができる。
		期待される効果	思考のアウトプットによる深化
教科	科目	具体的な活用事例	
理科	化学	活動名	動画の配信
		活用法	授業動画の配信
		具体的内容 (指導手順など)	授業の解説動画や、 $\alpha$ の情報の提供。
		期待される効果	定期考査への活用と、知識欲向上のためのきっかけ作り。

## ・数学

教科	科目	具体的な活用事例	
数学	数学Ⅰ 数学A	活動名	課題連絡など
		活用法	配信
		具体的内容 (指導手順など)	数学科通信をペーパーレス化して、PDFで配信している。
		期待される効果	
教科	科目	具体的な活用事例	
数学	数学Ⅱ	活動名	関数のグラフの特徴を調べる
		活用法	ソフトを活用したグラフの作図
		具体的内容 (指導手順など)	2次関数のグラフをgeogebraを用いて描かせる。関数の係数などの数値を変えらることにより、グラフがどのように変化するかを確認させる。
		期待される効果	実際にグラフが変化の様子を見ることで、関数という式とグラフという図形との間に成り立つ性質や関連性を身に付けられる。
教科	科目	具体的な活用事例	
数学		活動名	小テスト
		活用法	フォーム形式による小テスト
		具体的内容 (指導手順など)	「場合の数」の小テスト(客観問題、記述なしの答えのみ要求)をフォーム形式で行った。
		期待される効果	正解率やどんな誤答をしたのかがリアルタイムでわかり、間違えた生徒に対しその場ですぐに手当が出来る。

## ② 生徒の学習の振り返り（端末の蓄積データ）を活用した授業改善の事例（外国語）

### 【Google Formを使った Achievement Check Sheetによる自己評価とその効果】

令和2年度入学生から一人一台Chromebookを持ち、授業やHRで活用していくこととなった。単元の終了時に本文の内容を扱いながら、技能面・資質面両方の自己評価を行ってきた。1年生ではスキルに重点をおいた自己評価を行っていたが、この2年生では技能面① retelling ②要約③ Blank-filling、資質面④幅広く深い教養⑤主体的に行動する力⑥自他を尊重する心に絞って自己評

価を行い、そのデータを蓄積した。

(技能面①②③は言語活動をベースにした到達度目標リスト (SACLA) の評価基準から自己評価シートの評価基準を設定し、資質面④⑤⑥はGlobal Can-do Listの評価基準から自己目標シートの評価基準を設定した。)

【生徒 (令和3年度入学生：2年生) の変容】

(1) 技能・資質の変容：再生活動をベースに授業を組み立て、内容理解と技能伸張さらには学んだことを元に即興的なやりとりにつながるかどうか確認するために、次の5つの活動を自己評価に組み入れ、単元の最後に行いその場で Google Form にチェックし、Lesson 2 (6月) と Lesson 6 (11月) でその変容を見た。

※各項目 Level 1~Level 4 まで評価規準を設定し、その平均値で発展クラス・標準クラスの変容を見た。

ア) Story-retelling：各パートにおいて、内容理解終了後、絵またはキーワードを見ながら、1分間に60語以上のスピードで話の内容を英語で伝えることができる。

イ) Summary：各パートの内容を50語程度の英語でまとめることができる。

ウ) Blank-filling：各パートにおいて、十分な音読活動の後、80%埋めて音読することができる。

エ) 幅広く深い教養 (ペアワーク)：教科書の単元に扱われている話題について、英語で説明できる。

オ) 幅広く深い教養 (ペアワーク)：教科書の単元に扱われている具体的な内容について、英語で説明できる。

カ) 主体的に行動する力 (グループワーク)：教科書の単元に扱われている話題に関連する発展的なテーマについて話し合うことができる。

キ) 自他を尊重する心 (グループワーク)：教科書の単元に扱われている話題と自分たちの社会とをつなぐテーマについて話し合うことができる。

技能・資質の変容(平均)											
		① retelling	② Summary	③ Blank-filling	④教養: ペア	⑤教養: ペア	⑥主体・自他: グループ	⑦主体・自他: グループ	①~③	④~⑦	合計
発展	L2	3.06	3.09	3.23	2.79	2.89	2.78	2.82	9.31	10.07	19.38
	L6	3.05	3.13	3.04	3.04	3.00	2.98	2.93	8.84	11.16	20.00
標準	L2	2.43	2.75	2.28	2.11	2.03	1.92	1.90	7.42	6.07	13.49
	L6	2.83	2.56	2.73	2.53	2.31	2.31	2.24	8.00	8.15	16.15

・標準クラスの変容

ほとんどの項目において伸びが見られる。昨年度 Story-retelling で伸び悩みがあったが、今年度再生活動にも慣れ、スキルを順調に伸ばしている。スキルが全般的にまだ低い。Retelling 1~2 単語のフレーズで詰まりながらしゃべっている→4~5 単語のフレーズでいえるようにする。流ちょうさとイントネーションに配慮しながら指導していくことが望まれる。

・発展クラスの変容

発展クラスはほとんどの項目において伸びが見られなくなった。即興性の点で特に顕著であり、単に単元の内容を再現する活動に関してはスキルを保っている一方で、その場で自分の考えを即興的に述べる場面では流ちょうさ、語彙レベルともにレベルが下がってしまう。覚えたことを言っぱなしにする傾向が強い。「聞く→コメントを返す/確認する→自分の考えを述べる」といっ



た「やりとり」に重点を置いた練習も必要である。

(2) 自由記述に見る変容：Google-Form には自分の学習に対する振り返りを具体的に書く項目も設けている。その中で、生徒たちは自分の英語学習における課題を見つけ、具体的に対応策を考えるようになっている。今年度はコメントに頻繁に現れるキーワードを次の4つのカテゴリーに分類し、その変容を見た。(のべ数での割合を示す)

- ア) 学習の仕方：予習・復習など日々の授業への準備に関する記述
- イ) 内容について：単元の内容に関しての興味・関心にかかわる記述
- ウ) 技能について：4技能や活動（要約や Story-retelling など）に関する記述
- エ) その他：文法やテストの点数などについての記述
- カ) 具体性：具体的な記述となっているか

・標準クラスの変容

- ア) Lesson 2：49.4% → Lesson 6：53.2%
- イ) Lesson 2：14.6% → Lesson 6：24.7%
- ウ) Lesson 2：29.1% → Lesson 6：24.1%
- エ) Lesson 2：25.9% → Lesson 6：9.5%
- カ) Lesson 2：45.6% → Lesson 6：27.8%

単元の内容に関する記述が増えている。興味・関心を引き出しながら身の回りのことに関連付ける授業展開が少しずつ効果をあげている。

具体的な記述について割合を下げている。基本的に具体的な記述はほぼほとんどの生徒に見られるが、「具体性」の捉え方が以前より厳しくなったことが原因である。興味関心をベースに学習調整を行っている様子を捉えていきたい。

・発展クラスの変容

- ア) Lesson 2：58.4% → Lesson 6：45.6%
- イ) Lesson 2：16.0% → Lesson 6：36.8%
- ウ) Lesson 2：22.4% → Lesson 6：20.8%
- エ) Lesson 2：15.2% → Lesson 6：16.8%
- カ) Lesson 2：31.2% → Lesson 6：25.6%

単元の内容に関する記述が増えている。興味・関心を引き出しながら身の回りのことに関連付ける授業展開が少しずつ効果をあげている。語彙力を課題に挙げている生徒が多く、「見て意味がわかる単語の数」が語彙力と捉えている生徒が多い。幅広く「語彙力」を捉える必要がある。

【端末を使用した蓄積データ活用の効果】

端末に入力された振り返りを活用することで、学習者へのフィードバック、授業者どうしの情報の共有をしやすくなった。学習者と授業者の「つながり」がこれまでにない学習効果を生み出すことになる。互いのPDCAが適切に絡み合うことで、学習者の現状にあった授業改善が可能になる。ここでも端末の効果を実感することができた。

## 4 効果の検証

①GPS-academicによる検証（高校2年生の結果より）

表1									
批判的思考力									
	総合			情報を抽出し吟味する			論理的に組み立てて表現する		
	本校	全国	WWL校	本校	全国	WWL校	本校	全国	WWL校
S	3.4%	1.6%	2.4%	15.3%	7.1%	10.5%			
A	46.8%	28.0%	39.9%	33.2%	24.7%	32.7%	15.7%	11.8%	17.1%
B	42.1%	49.8%	49.0%	30.2%	29.8%	33.3%	60.9%	54.8%	59.5%
C	7.7%	20.2%	8.5%	20.0%	30.3%	20.5%	23.0%	32.4%	23.0%
D	0.0%	0.4%	0.1%	1.3%	8.2%	3.0%	0.4%	0.9%	0.4%
表2									
協働的思考力									
	総合			他者との共通点・違いを理解する			社会と参画し人と関わりあう		
	本校	全国	WWL校	本校	全国	WWL校	本校	全国	WWL校
S	8.5%	3.9%	5.8%	19.6%	10.7%	14.7%			
A	54.0%	42.3%	52.9%	35.7%	29.2%	36.3%	29.8%	24.5%	31.6%
B	34.5%	45.8%	38.4%	31.9%	35.9%	34.3%	63.4%	63.7%	61.4%
C	3.0%	7.8%	2.8%	11.1%	19.3%	12.8%	6.4%	11.3%	6.8%
D	0.0%	0.2%	0.1%	1.7%	4.9%	2.0%	0.4%	0.5%	0.3%
表3									
創造的思考力									
	総合			情報を関連づける・類推する			問題を見だし解決策を生み出す		
	本校	全国	WWL校	本校	全国	WWL校	本校	全国	WWL校
S	3.4%	0.8%	1.2%	6.8%	3.1%	4.3%			
A	37.9%	23.8%	32.2%	27.7%	17.7%	23.4%	28.1%	14.8%	19.2%
B	55.3%	58.8%	59.5%	36.6%	36.2%	42.1%	64.3%	63.6%	67.8%
C	3.4%	16.3%	6.9%	27.7%	36.1%	27.8%	7.2%	20.7%	12.7%
D	0.0%	0.3%	0.2%	1.3%	6.9%	2.3%	0.4%	0.9%	0.4%

「情報を抽出し吟味する」「情報を関連づける・類推する」「問題を見だし解決策を生み出す」といった項目に優位性が見られる。端末の使用と直接的な関係を説明する資料ではないが、授業の様々な場面で、指導者から資料を与えられる場面は紙を媒体にした時代とは大きく異なり、その質・量とも大きく改善されている。さらに、学習者自身が自分が必要とする情報・データを端末を通して得る機会は圧倒的に増えており、自ら得た情報を「吟味」し、「取舍選択」する機会も同様に増えている。その日常的な活動がこの結果に大きくかかわっていることは予想できる。

②校内アンケートによる検証

**【6つの資質・能力に関するアンケート 一覧表】**

選択肢：1.まったくあてはまらない/2.あまりあてはまらない/3.ある程度あてはまる/4.あてはまる

設問番号	設問内容	1年生				2年生					
		1年4月実施		1年1月実施		1年6月実施		1年3月実施		2年1月実施	
		平均	資質・能力	平均	資質・能力	平均	資質・能力	平均	資質・能力	平均	資質・能力
1	日本の歴史や伝統文化について理解している。	2.9	幅広く深い教養	3.1	幅広く深い教養	2.9	幅広く深い教養	2.7	幅広く深い教養	3.0	幅広く深い教養
2	世界の多様な文化や価値観・世界観について理解している。	2.7		3.0		2.9		2.5		2.9	
3	世界における日本の立場や役割を理解している。	2.6		2.9		2.6		2.4		2.8	
4	様々な情報源から、自身の学びに必要な情報や意見等を収集し、その信頼性を評価することができる。	2.9		3.0		2.9		2.9		3.1	
5	人類が目指す平和で民主的な社会について理解している。	2.9	2.8	3.0	3.0	2.9	2.8	2.7	2.6	2.9	2.9
6	現状を分析し、グローバルな視点で課題を発見することができる。	2.6	課題発見・解決能力	2.9	課題発見・解決能力	2.7	課題発見・解決能力	2.5	課題発見・解決能力	2.8	課題発見・解決能力
7	課題を解決するための知識や技能を有している。	2.5		2.8		2.5		2.3		2.8	
8	問題把握や課題解決に必要な情報を収集することができる。	3.0		3.1		3.1		2.9		3.1	
9	論理的に課題の解決策を考え、評価・検証を行うことができる。	2.7		2.9		2.7		2.6		2.9	
10	適切な手段・方法を用いて、成果や考え等を発信することができる。	2.8		2.8		2.9		2.9		3.0	
11	様々な課題の関連性から新たな課題を設定することができる。	2.7	新たな価値を創造する力	3.0	新たな価値を創造する力	2.8	新たな価値を創造する力	2.7	新たな価値を創造する力	2.9	新たな価値を創造する力
12	各教科で習得した知識や技能の関連性を見出すことができる。	2.8		3.0		2.8		2.8		2.9	
13	各教科で習得した知識や技能を課題解決にいかすことができる。	2.9		3.0		2.9		2.8		3.0	
14	自分やグループの意見を論理的に説明することができる。	2.8		3.0		2.8		2.8		3.0	
15	課題解決に向けて明確なビジョンを示すことができる。	2.6		2.9		2.7		2.6		2.9	
16	他者と協働し、想像的に課題を解決することができる。	3.0		2.8		3.1		3.0		3.2	
17	自己の活動を振り返り、次の活動に向けて具体的な目標を設定することができる。	3.0	主体的に行動する力	3.0	主体的に行動する力	3.1	主体的に行動する力	2.9	主体的に行動する力	3.0	主体的に行動する力
18	岡山・日本・世界の課題を解決しようという意欲がある。	3.0		3.0		3.0		2.9		2.9	
19	社会の諸問題を自らの問題として主体的に考えることができる。	2.8		3.0		2.9		2.8		2.9	
20	課題解決に向けて、粘り強く取り組むことができる。	3.1		3.0		3.1		3.0		3.1	
21	他者の考えや思い、価値観について誠意を持って理解しようとするすることができる。	3.4	他者と協働する力	3.3	他者と協働する力	3.5	他者と協働する力	3.2	他者と協働する力	3.3	他者と協働する力
22	メンバーとビジョンを共有することができる。	3.0		3.1		3.2		3.1		3.1	
23	課題解決に向けて協働して取り組むよう働きかけることができる。	3.0		3.1		3.2		3.1		3.1	
24	メンバーの資質・能力や適性をいかすように働きかけることができる。	2.9		2.9		2.9		2.9		3.0	
25	メンバーの中で自己の果たすべき役割を考え、それに対して責任ある行動を取ることができる。	3.2		3.1		3.2		3.1		3.3	
26	様々な状況において、自己の感情をコントロールすることができる。	3.2	自己を尊重する	3.2	自己を尊重する	3.2	自己を尊重する	3.1	自己を尊重する	3.2	自己を尊重する
27	自己の興味・関心、適性などを把握している。	3.2		3.1		3.2		3.1		3.1	
28	将来を見通して主体的に自己の生き方を考えることができる。	2.9		3.1		3.0		2.9		3.0	
29	自ら進んで、互いに尊重しあえる人間関係を築くことができる。	3.2		3.1		3.2		3.2		3.3	

6つの資質・能力がバランスよく維持できていることがわかる。とくに、「幅広く深い教養」「課


題発見・解決能力」「新たな価値を創造する力」「主体的に行動する力」は「知識・技能」「思考力・判断力」「学習調整能力」に直接かかわる項目である。それらの項目において、少し自己評価が伸びているのは、端末の使用を通して、様々な情報とつながり、さらには他者とつながることが容易に、かつ、頻繁に行われるようになった結果である。学力の向上にどれくらいの効果があるか、直接的な関連を示すものではないが、学習者の総合力は間違いなく上がっている。日本語での受信能力、日本語・英語での書くことによる発信能力は具体的に上昇している。それに伴う「思考力・判断力」も同時に上昇することも考えられる。いずれにしても、端末が学習者の能力・資質面に与える影響は非常に大きい。

## 5 おわりに

一人一台端末の活用に関しては、生徒の資質・能力の向上と1人1台端末の効果を直接結びつけて評価することは困難であるが、効率的な授業の実施、振り返り活動や協働的な学びの充実など教育現場における効果は大きいと考える。今後も学習活動における効果や学力向上への効果など、さまざまな観点でその効果のほどが検証されていくだろうが、「教具」としてすでに現場に入り込んでいる状況を受け入れるべきである。本校と姉妹校の関係にあるオーストラリアのSacred Heart Collegeでは、数年前にはすでにChromebookを導入しており、その成果を確信している。(資料)


(資料：Sacred Heart Collegeでの端末活用:2019.5月)

### Day ④ 5 / 1 Sacred Heart College 8



●ChromeBook

- ・Chromebookを全員に持たせ授業中のTask、宿題、生徒作品、テスト、評価など教育活動にかかわるすべての情報がクラウドの中に蓄積されていく。個々の生徒へのフィードバックなどもすべてこの中でやりとりがなされ、きめの細かい指導が可能となる。
- ・授業者の教材もすべて蓄積されていくので、かつて似たようなテーマで扱った別の素材など好きな時に引き出し、加工し、使用することができる。



この流れは日本だけの話ではなく、教育自体がグローバル化していることの例である。日本はこの面でも世界から遅れをとっている現状であり、この教育のグローバル化に対応する柔軟性が求められる。端末の効果を検証している場合ではないかもしれない。我々は早く端末に熟達するだけではなく、生徒の実態等をしっかり把握しつつ、育成する資質・能力をイメージして1人1台端末の活用を進めていくことが必要である。そのためには、時代にあった学校全体のカリキュラムマネジメントを進めなければならない。

令和3年度

**SOZAN**

**Global Can-do List**



岡山県立岡山操山中学校・高等学校

WWL課 GLOBAL STUDIES

令和3年4月

## 目 次

□ SOZAN Global Can-do List 作成について	・ ・ ・	P 2
□ 作成手順とねらい	・ ・ ・	P 2 , 3
国語科	・ ・ ・	P 4
地歴公民科（社会科）	・ ・ ・	P 5 , 6 , 7
数学科	・ ・ ・	P 8
理 科	・ ・ ・	P 9
保健体育科	・ ・ ・	P 10 , 11
芸術科（音楽・美術）	・ ・ ・	P 12
外国語科（英語科）	・ ・ ・	P 13
家庭科（技術・家庭）	・ ・ ・	P 14 , 15

## □ SOZAN Global Can-do List 作成について

本校の教員研修・授業改善を担う「GLOBAL STUDIES」では、中学校・高等学校の教職員が連携・協力し、全教科・科目で授業改善を行い、グローバル・リーダーに必要な6つの資質・能力をすべての授業の中で育成することを目指しています。

この SOZAN Global Can-do List は、中・高の教職員間、そして、生徒とも共有しながら、3年間あるいは6年間をかけて、6つの資質・能力を育てるための到達度目標表です。

今後、この SOZAN Global Can-do List の中で示した「目指す生徒像」の育成を目標に、各教科で授業改善に取り組むとともに、継続的に効果の検証および授業評価・改善を図ります。

## □ 作成手順とねらい（図1参照）

①学校全体で「目指す生徒像」を共有します。

②そのイメージを「育成する資質・能力」に落とし込みます。

\* 「認知的スキル」と「非認知的スキル」に大別し、それぞれ3つの資質・能力で表現し、6つの資質・能力を教育活動の中で育てていきます。

③さらにそれぞれの資質・能力を具体的なキーワードでイメージを共有しやすくしていきます。

④⑤⑥で目指す方向性を昨今のトレンドとの共通点を確認します。

⑦各教科での授業でのイメージをつかみ、日々の授業に落とし込んでいきます。

⑧各資質・能力を具体的に捉え、「～することができる」という到達度目標の記述になるよう橋渡しします。（図2参照）

\* この解釈をもとに各教科で各学年での到達度目標を作成することで、目標を共有し、達成度合いを測る手段を模索しながら、生徒の変容を捉えると同時に、日々の授業改善に役立てていきます。

( 図 1 )

①目指す生徒像(全体)	「和して流れず」・松柏」の精神で次代を担う高い志を持ち、未来の岡山と世界のWell-beingの実現に貢献するグローバル・リーダー					
②育成する資質能力	認知的スキル			非認知的スキル (社会情緒的スキル)		
	幅広く深い教養	課題発見・解決能力	新たな価値を創造する力	主体的に行動する力	他者と協働する力	自他を尊重する心
③具体的資質	・基本的な認知能力	・知識の獲得	・知識の推察	・目標達成	・他者との協働	・感情の管理
	(パターン認識)	(探究)	(熟考)	(忍耐力)	(社会性)	(自尊心)
	(処理速度)	(取り出し)	(推論)	(自己制御)	(尊重)	(楽観性)
	(記憶力)	(解釈)	(概念化)	(目標への情熱)	(思いやり)	(信頼性)
④学指導要領との関連	☆知識・技能	☆知識・技能	☆知識・技能		☆思考力・判断力・表現力	
		☆思考力・判断力・表現力	☆思考力・判断力・表現力	☆学びに向かう力	☆学びに向かう力	☆学びに向かう力
⑤OECD教育との関連	●知識	●知識				
	●スキル	●スキル				
			●態度・価値	●態度・価値		
			●予測・振り返り・行動	●予測・振り返り・行動	●予測・振り返り・行動	●予測・振り返り・行動
	●新たな価値を想像する力・責任ある行動をとる力・対立やジレンマを克服する力					
	●批判的思考力・創造的思考力・学び方を学ぶ・自己調整力			●共感・自己効力感・協働性・社会性		
⑥UNESCO教育(ESD)との関連					○持続可能な開発に関する[価値観]	○持続可能な開発に関する価値観
		○体系的な思考力	○体系的な思考力			
		○代替案の思考力	○代替案の思考力			
	○データや情報の分析能力	○データや情報の分析能力			○コミュニケーション能力	○コミュニケーション能力
				○リーダーシップの向上		
⑦各教科との関連	▲教科書・関連素材の理解	▲情報の内在化	▲応用・紐付け	▲自己評価・振り返り	▲グループワーク	▲楽しい
				▲計画性 ▲変容	▲ペアワーク	▲充実感
国語	★	★	★	★	★	★
地歴・公民	★	★	★		★	
数学	★	★	★	★	★	★
理科	★	★	★	★	★	★
保健体育	★	★	★	★	★	★
芸術	★	★	★	★	★	★
外国語		★	★	★	★	★

( 図 2 )

SOZAN Global Can-do List (教科: )						
目指す生徒像(教科)	認知的スキル			非認知的スキル (社会情緒的スキル)		
育成する資質能力	自身が所属する社会の幸福を実現することができる			自他の幸福を創造し続けることができる		
	①幅広く深い教養	②課題発見・解決能力	③新たな価値を創造する力	④主体的に行動する力	⑤他者と協働する力	⑥自他を尊重する心
⑧解釈	グローバルな課題を理解できる国際的な素養がある	グローバルな視点で課題を発見し、論理的に解決策を考え、発信することができる	既存の価値を融合し、自由な発想で新しい価値軸を創ることができる	目標に向かって自主的に考え、自律的に判断し、決断したことに積極的かつ誠実に実行し続けることができる	自己を理解し、自立した人間として、他者と共に心を通じ合わせてよりよい社会の実現を目指すことができる	社会における自己を認識し、自他の存在意義を認めることができる
H3						
H2						
H1						
J3						
J2						
J1						

\* 各教科での「目指す生徒像」を設定しています。

\* 「解釈」の部分は非表示にしています。

\* J1~H3 は中1～高3を示しています。

\* 図1の各教科の★が示すように、教科によっては資質・能力の枠をつなげて表現しているところもあります。



# SOZAN Global Can-do List (教科: 国語)

目標と生徒像 (教科)		認知スキル					
【高】豊かな心情と広い視野を持って、国際社会における国家の基盤としての国語を尊重し、その継承と向上を図ることのできる生徒 【中】豊かな心情と広い視野を持って、国際社会における国家の基盤としての国語を尊重することのできる生徒		認知スキル			非認知スキル (社会情動的スキル)		
育成する資質能力		自身が所属する社会の幸福を実現することができる			自他の幸福を創造し続けることができる		
		①幅広い深い教養	②課題発見・解決能力	③新たな価値を創造する力	④主体的に行動する力	⑤他者と協働する力	⑥自他を尊重する心
H3	【現代文】 常用漢字の読み書きに習熟するとともに、自身を取り巻く様々な価値観や思想に関する理解を深め、課題を主体的な視点で捉え、解決策を導くことができる。 【古典】 古典文法や古文単語に関する知識が定着しており、辞書等をほとんど使用せずに、物語・日記・随筆・評論等の文章を読み、作者の心情を読み取り、他の作品と比較したりして、作品世界を理解することができる。 入試問題レベルよりも難しい漢文を自分の力で読むことができる。	【現代文】 様々なジャンルの評論を通じて、前近代、近代、後近代それぞれの立場や思想に関する理解を深め、課題を主体的な視点で捉え、解決策を導くことができる。 【古典】 古典に表現されている先人たちの価値観を理解した上で、現代社会における人間の生き方や価値観と比較し、そこから課題やテーマを設定して考えや意見を深めようすることができる。	【現代文】 設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関連づけて自分の考えを広げたり、深めたりすることができる。 【古典】 古典作品の内容や解釈をふまえ、自分のもの見方、感じ方、考え方の相違を追究することによって、新たな価値を創造することができる。	【現代文】 様々な考え方ができる事柄に関する発表や討論に際して、それぞれ立場を尊重しながら相互の意見を交換し、円滑に行われるよう取り計らうことができる。 【古典】 グループ活動などの場面で、グループ内や他のグループの意見を聞き取ることに加え、既存の研究なども参考にして、よりよいものを生み出すことができる。	【現代文】 様々な文章や文学作品に関する意見や感想を話し合ったり、文章化して相互に批評し合ったりすることができる。 【古典】 グループ活動での話し合いなどを通じて互いの意見を交換し、古典に関する共通理解や共通認識を作り上げることができる。 他者の意見を聞きとって理解し、相互に伝え合うことで互いの理解を深めることができる。	【現代文】 様々な文章や文学作品を通して、よりよい社会の在り方や自己と社会との関わり方について考察し、その内容を発信したり実践したりすることができる。	
	【現代文】 常用漢字の読み書きが定着するとともに、近代以降の様々な文章の読解を通して、もの見方、感じ方、考え方を深く視野を広げることができる。 【古典】 各品詞についての知識が定着しており、敬語について一通り理解している。古典の背景に関する知識を基に、物語・日記・随筆などの古文を一部辞書を用いながら読んで理解することができる。 「諸子百家」や大学入試問題レベルの漢文を読んで理解することができる。	【現代文】 様々なジャンルの評論を通じて、近代を中心としたその前後の時代背景や主立った思想の特徴を理解し、そこから現代社会の課題について考え、今の社会の在り方を見直そうとすることができる。 【古典】 古典を読むことを通じて先人たちの知識や感性・価値観を基に、現代社会の在り方を見直そうとすることができる。 文章の中から自分なりの課題やテーマを設定し、解決に向けて考えることができる。	【現代文】 人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結びつけて、新たな観点から自分の考えを深めることができる。 【古典】 古典作品の内容や解釈をふまえ、自分のもの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもつことができる。	【現代文】 発表や討論の場で、テーマについての複数の考えを尊重しながら互いに意見を交換し、考察を深めるよう努めることができる。 【古典】 グループ活動などの場面で、グループ内や他のグループの意見を聞き取り、一つにまとめることができる。	【現代文】 様々な文章や文学作品を読んで、互いの意見や感想を持ち、それを発表や討論の場で的確に表現したりすることができる。 【古典】 古典の表現や背景の知識に基づいて、古典の内容や魅力についてグループで議論することができる。 グループ活動を通して、他者の意見を聞き、それを踏まえて自分の意見を伝えることができる。	【現代文】 様々な文章を通して社会に対する理解を深め、自己と社会の関係について考察し、社会の一員としての自分を自覚することができる。 【古典】 様々な古典を読むことで、先人の生き方や社会との関わり方を学び、その内容を表現しようとするることができる。	
H1	【国語総合】 常用漢字の読み書きが定着するとともに、近代以降の様々な文章に触れ、読解力を身に付けることができる。 【国語総合】 動詞・助動詞・助詞等の各品詞について一通りの知識を持っており、辞書・文法書を用いながら古文を読み進めることができる。 漢文訓読の基本的知識を身に付けており、「諸子百家」等の文章を読んで理解することができる。	【国語総合】 様々なジャンルの評論を通じて、現代社会や人間の在り方における課題について知り、問題意識を持つことができる。 【国語総合】 古典の文章に表現された思想や感情を読み取り、人間・社会・自然等について考察し、見識を深めようすることができる。	【国語総合】 人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結びつけることができる。 【国語総合】 古典作品の内容や解釈をふまえ、自分のもの見方、感じ方、考え方の中に共通するのを見いだし、我が国の言語文化に親しみをもつことができる。	【国語総合】 発表や討論の場で、テーマについての複数の考えを分類したり統合したりできる。 【国語総合】 発表や討論の場で、テーマについての複数の考えを分類したり統合したりできる。	【国語総合】 様々な文章を読んで自分なりの意見や感想を持ち、それを適切に他者に伝えたり他者の意見に耳を傾けたりすることができる。 【国語総合】 ペアワークやグループ活動、発表会等の場面で、自分が古典から読みとった内容や魅力について他者に的確に伝えることができる。	【国語総合】 様々な文章を通して社会に関する知識を得ると共に、社会における自己の立場や役割を知ることができる。 【国語総合】 古典を読むことを通じて我が国や東アジア文化圏の伝統や文化に関する理解や関心を深めることができる。	
	【国語総合】 動詞・助動詞・助詞等の各品詞について一通りの知識を持っており、辞書・文法書を用いながら古文を読み進めることができる。 漢文訓読の基本的知識を身に付けており、「諸子百家」等の文章を読んで理解することができる。	【国語総合】 様々なジャンルの評論を通じて、近代を中心としたその前後の時代背景や主立った思想の特徴を理解し、そこから現代社会の課題について考え、今の社会の在り方を見直そうとすることができる。 【古典】 古典を読むことを通じて先人たちの知識や感性・価値観を基に、現代社会の在り方を見直そうとすることができる。 文章の中から自分なりの課題やテーマを設定し、解決に向けて考えることができる。	【国語総合】 人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結びつけることができる。 【国語総合】 古典作品の内容や解釈をふまえ、自分のもの見方、感じ方、考え方の中に共通するのを見いだし、我が国の言語文化に親しみをもつことができる。	【国語総合】 発表や討論の場で、テーマについての複数の考えを分類したり統合したりできる。 【国語総合】 発表や討論の場で、テーマについての複数の考えを分類したり統合したりできる。	【国語総合】 様々な文章を読んで自分なりの意見や感想を持ち、それを適切に他者に伝えたり他者の意見に耳を傾けたりすることができる。 【国語総合】 ペアワークやグループ活動、発表会等の場面で、自分が古典から読みとった内容や魅力について他者に的確に伝えることができる。	【国語総合】 様々な文章を通して社会に関する知識を得ると共に、社会における自己の立場や役割を知ることができる。 【国語総合】 古典を読むことを通じて我が国や東アジア文化圏の伝統や文化に関する理解や関心を深めることができる。	
J3	【国語総合】 常用漢字の読み書きが定着するとともに、近代以降の様々な文章に触れ、読解力を身に付けることができる。 【国語総合】 動詞・助動詞・助詞等の各品詞について一通りの知識を持っており、辞書・文法書を用いながら古文を読み進めることができる。 漢文訓読の基本的知識を身に付けており、「諸子百家」等の文章を読んで理解することができる。	【国語総合】 様々なジャンルの評論を通じて、近代を中心としたその前後の時代背景や主立った思想の特徴を理解し、そこから現代社会の課題について考え、今の社会の在り方を見直そうとすることができる。 【古典】 古典を読むことを通じて先人たちの知識や感性・価値観を基に、現代社会の在り方を見直そうとすることができる。 文章の中から自分なりの課題やテーマを設定し、解決に向けて考えることができる。	【国語総合】 人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結びつけることができる。 【国語総合】 古典作品の内容や解釈をふまえ、自分のもの見方、感じ方、考え方の中に共通するのを見いだし、我が国の言語文化に親しみをもつことができる。	【国語総合】 発表や討論の場で、テーマについての複数の考えを分類したり統合したりできる。 【国語総合】 発表や討論の場で、テーマについての複数の考えを分類したり統合したりできる。	【国語総合】 様々な文章を読んで自分なりの意見や感想を持ち、それを適切に他者に伝えたり他者の意見に耳を傾けたりすることができる。 【国語総合】 ペアワークやグループ活動、発表会等の場面で、自分が古典から読みとった内容や魅力について他者に的確に伝えることができる。	【国語総合】 様々な文章を通して社会に関する知識を得ると共に、社会における自己の立場や役割を知ることができる。 【国語総合】 古典を読むことを通じて我が国や東アジア文化圏の伝統や文化に関する理解や関心を深めることができる。	
	【国語総合】 常用漢字の読み書きが定着するとともに、近代以降の様々な文章に触れ、読解力を身に付けることができる。 【国語総合】 動詞・助動詞・助詞等の各品詞について一通りの知識を持っており、辞書・文法書を用いながら古文を読み進めることができる。 漢文訓読の基本的知識を身に付けており、「諸子百家」等の文章を読んで理解することができる。	【国語総合】 様々なジャンルの評論を通じて、近代を中心としたその前後の時代背景や主立った思想の特徴を理解し、そこから現代社会の課題について考え、今の社会の在り方を見直そうとすることができる。 【古典】 古典を読むことを通じて先人たちの知識や感性・価値観を基に、現代社会の在り方を見直そうとすることができる。 文章の中から自分なりの課題やテーマを設定し、解決に向けて考えることができる。	【国語総合】 人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結びつけることができる。 【国語総合】 古典作品の内容や解釈をふまえ、自分のもの見方、感じ方、考え方の中に共通するのを見いだし、我が国の言語文化に親しみをもつことができる。	【国語総合】 発表や討論の場で、テーマについての複数の考えを分類したり統合したりできる。 【国語総合】 発表や討論の場で、テーマについての複数の考えを分類したり統合したりできる。	【国語総合】 様々な文章を読んで自分なりの意見や感想を持ち、それを適切に他者に伝えたり他者の意見に耳を傾けたりすることができる。 【国語総合】 ペアワークやグループ活動、発表会等の場面で、自分が古典から読みとった内容や魅力について他者に的確に伝えることができる。	【国語総合】 様々な文章を通して社会に関する知識を得ると共に、社会における自己の立場や役割を知ることができる。 【国語総合】 古典を読むことを通じて我が国や東アジア文化圏の伝統や文化に関する理解や関心を深めることができる。	
J2	【国語総合】 常用漢字の読み書きが定着するとともに、近代以降の様々な文章に触れ、読解力を身に付けることができる。 【国語総合】 動詞・助動詞・助詞等の各品詞について一通りの知識を持っており、辞書・文法書を用いながら古文を読み進めることができる。 漢文訓読の基本的知識を身に付けており、「諸子百家」等の文章を読んで理解することができる。	【国語総合】 様々なジャンルの評論を通じて、近代を中心としたその前後の時代背景や主立った思想の特徴を理解し、そこから現代社会の課題について考え、今の社会の在り方を見直そうとすることができる。 【古典】 古典を読むことを通じて先人たちの知識や感性・価値観を基に、現代社会の在り方を見直そうとすることができる。 文章の中から自分なりの課題やテーマを設定し、解決に向けて考えることができる。	【国語総合】 人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結びつけることができる。 【国語総合】 古典作品の内容や解釈をふまえ、自分のもの見方、感じ方、考え方の中に共通するのを見いだし、我が国の言語文化に親しみをもつことができる。	【国語総合】 発表や討論の場で、テーマについての複数の考えを分類したり統合したりできる。 【国語総合】 発表や討論の場で、テーマについての複数の考えを分類したり統合したりできる。	【国語総合】 様々な文章を読んで自分なりの意見や感想を持ち、それを適切に他者に伝えたり他者の意見に耳を傾けたりすることができる。 【国語総合】 ペアワークやグループ活動、発表会等の場面で、自分が古典から読みとった内容や魅力について他者に的確に伝えることができる。	【国語総合】 様々な文章を通して社会に関する知識を得ると共に、社会における自己の立場や役割を知ることができる。 【国語総合】 古典を読むことを通じて我が国や東アジア文化圏の伝統や文化に関する理解や関心を深めることができる。	
	【国語総合】 常用漢字の読み書きが定着するとともに、近代以降の様々な文章に触れ、読解力を身に付けることができる。 【国語総合】 動詞・助動詞・助詞等の各品詞について一通りの知識を持っており、辞書・文法書を用いながら古文を読み進めることができる。 漢文訓読の基本的知識を身に付けており、「諸子百家」等の文章を読んで理解することができる。	【国語総合】 様々なジャンルの評論を通じて、近代を中心としたその前後の時代背景や主立った思想の特徴を理解し、そこから現代社会の課題について考え、今の社会の在り方を見直そうとすることができる。 【古典】 古典を読むことを通じて先人たちの知識や感性・価値観を基に、現代社会の在り方を見直そうとすることができる。 文章の中から自分なりの課題やテーマを設定し、解決に向けて考えることができる。	【国語総合】 人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結びつけることができる。 【国語総合】 古典作品の内容や解釈をふまえ、自分のもの見方、感じ方、考え方の中に共通するのを見いだし、我が国の言語文化に親しみをもつことができる。	【国語総合】 発表や討論の場で、テーマについての複数の考えを分類したり統合したりできる。 【国語総合】 発表や討論の場で、テーマについての複数の考えを分類したり統合したりできる。	【国語総合】 様々な文章を読んで自分なりの意見や感想を持ち、それを適切に他者に伝えたり他者の意見に耳を傾けたりすることができる。 【国語総合】 ペアワークやグループ活動、発表会等の場面で、自分が古典から読みとった内容や魅力について他者に的確に伝えることができる。	【国語総合】 様々な文章を通して社会に関する知識を得ると共に、社会における自己の立場や役割を知ることができる。 【国語総合】 古典を読むことを通じて我が国や東アジア文化圏の伝統や文化に関する理解や関心を深めることができる。	
J1	【国語総合】 常用漢字の読み書きが定着するとともに、近代以降の様々な文章に触れ、読解力を身に付けることができる。 【国語総合】 動詞・助動詞・助詞等の各品詞について一通りの知識を持っており、辞書・文法書を用いながら古文を読み進めることができる。 漢文訓読の基本的知識を身に付けており、「諸子百家」等の文章を読んで理解することができる。	【国語総合】 様々なジャンルの評論を通じて、近代を中心としたその前後の時代背景や主立った思想の特徴を理解し、そこから現代社会の課題について考え、今の社会の在り方を見直そうとすることができる。 【古典】 古典を読むことを通じて先人たちの知識や感性・価値観を基に、現代社会の在り方を見直そうとすることができる。 文章の中から自分なりの課題やテーマを設定し、解決に向けて考えることができる。	【国語総合】 人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結びつけることができる。 【国語総合】 古典作品の内容や解釈をふまえ、自分のもの見方、感じ方、考え方の中に共通するのを見いだし、我が国の言語文化に親しみをもつことができる。	【国語総合】 発表や討論の場で、テーマについての複数の考えを分類したり統合したりできる。 【国語総合】 発表や討論の場で、テーマについての複数の考えを分類したり統合したりできる。	【国語総合】 様々な文章を読んで自分なりの意見や感想を持ち、それを適切に他者に伝えたり他者の意見に耳を傾けたりすることができる。 【国語総合】 ペアワークやグループ活動、発表会等の場面で、自分が古典から読みとった内容や魅力について他者に的確に伝えることができる。	【国語総合】 様々な文章を通して社会に関する知識を得ると共に、社会における自己の立場や役割を知ることができる。 【国語総合】 古典を読むことを通じて我が国や東アジア文化圏の伝統や文化に関する理解や関心を深めることができる。	
	【国語総合】 常用漢字の読み書きが定着するとともに、近代以降の様々な文章に触れ、読解力を身に付けることができる。 【国語総合】 動詞・助動詞・助詞等の各品詞について一通りの知識を持っており、辞書・文法書を用いながら古文を読み進めることができる。 漢文訓読の基本的知識を身に付けており、「諸子百家」等の文章を読んで理解することができる。	【国語総合】 様々なジャンルの評論を通じて、近代を中心としたその前後の時代背景や主立った思想の特徴を理解し、そこから現代社会の課題について考え、今の社会の在り方を見直そうとすることができる。 【古典】 古典を読むことを通じて先人たちの知識や感性・価値観を基に、現代社会の在り方を見直そうとすることができる。 文章の中から自分なりの課題やテーマを設定し、解決に向けて考えることができる。	【国語総合】 人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結びつけることができる。 【国語総合】 古典作品の内容や解釈をふまえ、自分のもの見方、感じ方、考え方の中に共通するのを見いだし、我が国の言語文化に親しみをもつことができる。	【国語総合】 発表や討論の場で、テーマについての複数の考えを分類したり統合したりできる。 【国語総合】 発表や討論の場で、テーマについての複数の考えを分類したり統合したりできる。	【国語総合】 様々な文章を読んで自分なりの意見や感想を持ち、それを適切に他者に伝えたり他者の意見に耳を傾けたりすることができる。 【国語総合】 ペアワークやグループ活動、発表会等の場面で、自分が古典から読みとった内容や魅力について他者に的確に伝えることができる。	【国語総合】 様々な文章を通して社会に関する知識を得ると共に、社会における自己の立場や役割を知ることができる。 【国語総合】 古典を読むことを通じて我が国や東アジア文化圏の伝統や文化に関する理解や関心を深めることができる。	

## SOZAN Global Can-do List (教科: 日本史B)

目指す生徒像 (教科)						
我が国及び世界の様々な社会的事象に深い造詣を持ち、国際社会に主体的に生き平和で民主的な国家形成を形成するための自覚と資質・能力を持つ生徒						
育成する資質能力	認知的スキル			非認知的スキル (社会情慮的スキル)		
	自身が所属する社会の幸福を実現することができる			自他の幸福を創造し続けることができる		
	①幅広く深い教養	②課題発見・解決能力	③新たな価値を創造する力	④主体的に行動する力	⑤他者と協働する力	⑥自他を尊重する心
H3	我が国の歴史の展開に関わる諸事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えることができる。	日本と世界の相互の関わり、地域社会や身の回りの課題、現代日本の課題について、時期や年代、推移・比較・相互の関連や現在とに捉えながら総合的に捉えることができる。	様々な資料を活用し、歴史的事象の意味や意義、相互の関係性などを考察することで、歴史的事象には複数の解釈が成り立つことを知り、自分の考えを根拠を持って論理的に説明できる。	持続可能な社会の実現を視野に、諸資料を活用して、地域社会や身の回りの課題、現代日本の課題に関連した主題について、自ら仮説を立て、探究することによって、自分の考えを根拠を持って論理的に説明できる。	我が国の歴史や、伝統・文化が先人の努力により形成されたこと、また国際社会やアジア近隣諸国の影響を受けてきたことを理解し、自国や他国の文化を尊重することができる。	
H2	我が国の歴史の展開に関わる諸事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えることができる。	日本と世界の相互の関わり、地域社会や身の回りの課題、現代日本の課題について、時期や年代、推移・比較・相互の関連や現在とに捉えながら総合的に捉えることができる。	様々な資料を活用し、歴史的事象の意味や意義、相互の関係性などを考察することで、歴史的事象には複数の解釈が成り立つことを知り、自分の考えを根拠を持って論理的に説明できる。	持続可能な社会の実現を視野に、諸資料を活用して、地域社会や身の回りの課題、現代日本の課題に関連した主題について、自ら仮説を立て、探究することによって、自分の考えを根拠を持って論理的に説明できる。	我が国の歴史や、伝統・文化が先人の努力により形成されたこと、また国際社会やアジア近隣諸国の影響を受けてきたことを理解し、自国や他国の文化を尊重することができる。	
H1						

## SOZAN Global Can-do List (教科: 地理B)

目指す生徒像 (教科)						
我が国及び世界の様々な社会的事象に深い造詣を持ち、国際社会に主体的に生き平和で民主的な国家形成を形成するための自覚と資質・能力を持つ生徒						
育成する資質能力	認知的スキル			非認知的スキル (社会情慮的スキル)		
	自身が所属する社会の幸福を実現することができる			自他の幸福を創造し続けることができる		
	①幅広く深い教養	②課題発見・解決能力	③新たな価値を創造する力	④主体的に行動する力	⑤他者と協働する力	⑥自他を尊重する心
H3	現代世界の地理的事象についての基本的な事柄や追究の方法を十分理解し、その知識を幅広く身に付けている。	地図や統計、画像など地域に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりして、適切に表現できる。	現代世界の地理的事象から課題を見いだして系統的・地誌的に考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断できる。	社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者としての責務を果たそうとすることができる。	多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国や世界の諸地域の多様な生活文化を尊重することができる。	
H2	現代世界の地理的事象についての基本的な事柄や追究の方法を十分理解し、その知識を幅広く身に付けている。	地図や統計、画像など地域に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりして、適切に表現できる。	現代世界の地理的事象から課題を見いだして系統的・地誌的に考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断できる。	社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者としての責務を果たそうとすることができる。	多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国や世界の諸地域の多様な生活文化を尊重することができる。	
H1						

## SOZAN Global Can-do List (教科: 世界史A・世界史B)

目指す生徒像 (教科)						
我が国及び世界の様々な社会的事象に深い造詣を持ち、国際社会に主体的に生き平和で民主的な国家形成を形成するための自覚と資質・能力を持つ生徒						
育成する資質能力	認知的スキル			非認知的スキル (社会情慮的スキル)		
	自身が所属する社会の幸福を実現することができる			自他の幸福を創造し続けることができる		
	①幅広く深い教養	②課題発見・解決能力	③新たな価値を創造する力	④主体的に行動する力	⑤他者と協働する力	⑥自他を尊重する心
H3 世界史B	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、その知識を幅広く身に付けている。	世界の歴史から課題を見いだし、時期や年代、推移・比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、多面的・多角的に考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断できる。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、歴史的視野から考察し、国際社会に主体的に生きる日本国民としての責務を果たそうとすることができる。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象に対する多面的・多角的な考察や深い理解を通して、国際社会に主体的に生き国家・社会を形成する日本国民としての責務を果たそうとすることができる。		
H2 世界史B	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、その知識を幅広く身に付けている。	世界の歴史から課題を見いだし、時期や年代、推移・比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、多面的・多角的に考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断できる。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、歴史的視野から考察し、国際社会に主体的に生きる日本国民としての責務を果たそうとすることができる。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象に対する多面的・多角的な考察や深い理解を通して、国際社会に主体的に生き国家・社会を形成する日本国民としての責務を果たそうとすることができる。		
H1 世界史A	近現代史を中心とする世界の歴史についての基本的な事柄を地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身に付けている。	現代世界の諸課題を歴史的観点から考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断しようとすることができる。	世界の構造や成り立ちを歴史的視野から考察し、国際社会に主体的に生きる日本国民としての責務を果たそうとすることができる。	近現代史を中心とする世界の歴史に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究するとともに、国際社会に主体的に生き国家・社会を形成する日本国民としての責務を果たそうとすることができる。		
J3						
J2						
J1						

## SOZAN Global Can-do List (教科：現代社会)

目指す生徒像 (教科)	我が国及び世界の様々な社会的事象に深い造詣を持ち、国際社会に主体的に生き平和で民主的な国家形成を形成するための自覚と資質・能力を持つ生徒					
育成する資質能力	認知的スキル 自身が所属する社会の幸福を実現することができる			非認知的スキル (社会情緒的スキル) 自他の幸福を創造し続けることができる		
	①幅広い深い教養	②課題発見・解決能力	③新たな価値を創造する力	④主体的に行動する力	⑤他者と協働する力	⑥自他を尊重する心
H3	現代社会の基本的問題と人間としての在り方生き方に関わる基本的な事柄や、学び方を深く理解し、その知識を幅広く身に付けている。	現代社会の基本的問題に関わる事柄から課題を見だし、社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえ公正に判断できる。	法、政治及び経済などの側面を関連させ、解決が求められる具体的な課題の解決に向け協働して考察・構想したことを論拠をもって表現できる。	現代社会の基本的問題と人間に関わる事柄に関する諸資料を様々なメディアを通して収集し、有用な情報を選択して効果的に活用し、適切に表現できる。	現代社会の基本的問題と人間に関わる事柄に対する関心を高め、意欲的に課題を追究するとともに、社会的な事象を総合的に考察し、平和で民主的なよりよい社会の実現に向けて参加、協力する態度を身に付け、現代社会に生きる人間としての在り方生き方について自覚を深めることができる。	
H2						
H1	現代社会の基本的問題と人間としての在り方生き方に関わる基本的な事柄や、学び方を深く理解し、その知識を幅広く身に付けている。	現代社会の基本的問題に関わる事柄から課題を見だし、社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえ公正に判断できる。	法、政治及び経済などの側面を関連させ、解決が求められる具体的な課題の解決に向け協働して考察・構想したことを論拠をもって表現できる。	現代社会の基本的問題と人間に関わる事柄に関する諸資料を様々なメディアを通して収集し、有用な情報を選択して効果的に活用し、適切に表現できる。	現代社会の基本的問題と人間に関わる事柄に対する関心を高め、意欲的に課題を追究するとともに、社会的な事象を総合的に考察し、平和で民主的なよりよい社会の実現に向けて参加、協力する態度を身に付け、現代社会に生きる人間としての在り方生き方について自覚を深めることができる。	

## SOZAN Global Can-do List (教科：倫理)

目指す生徒像 (教科)	我が国及び世界の様々な社会的事象に深い造詣を持ち、国際社会に主体的に生き平和で民主的な国家形成を形成するための自覚と資質・能力を持つ生徒					
育成する資質能力	認知的スキル 自身が所属する社会の幸福を実現することができる			非認知的スキル (社会情緒的スキル) 自他の幸福を創造し続けることができる		
	①幅広い深い教養	②課題発見・解決能力	③新たな価値を創造する力	④主体的に行動する力	⑤他者と協働する力	⑥自他を尊重する心
H3	古今東西の幅広い知的蓄積を通して、現代の倫理的諸課題を捉え、より深く思索するための手掛かりとなる概念や理論を理解している。	現代の倫理的諸課題を発見し、倫理に関する概念や理論などを用いて、論理的に思考し、また、諸資料から、人間としての在り方生き方に関わる情報を調べまとめる技能を身に付けている。	現代の倫理的諸課題を解決するために、人間としての在り方生き方について既存の価値を融合したり、自由な発想で新しい価値軸を創ることができる。	人間としての在り方生き方に関わる事柄や課題について主体的に追求したり、他者と共によりよく生きる自己を形成しようとしていたりする態度を身に付けている。	自立した人間として、他者と共によりよく生きる自己の生き方についてより深く思索する力を身に付け、現代の倫理的諸課題を解決するために、論理的に思考し、思索を深め、説明したり対話したりすることができる。	
H2						
H1						

## SOZAN Global Can-do List (教科：政治・経済)

目指す生徒像 (教科)	我が国及び世界の様々な社会的事象に深い造詣を持ち、国際社会に主体的に生き平和で民主的な国家形成を形成するための自覚と資質・能力を持つ生徒					
育成する資質能力	認知的スキル 自身が所属する社会の幸福を実現することができる			非認知的スキル (社会情緒的スキル) 自他の幸福を創造し続けることができる		
	①幅広い深い教養	②課題発見・解決能力	③新たな価値を創造する力	④主体的に行動する力	⑤他者と協働する力	⑥自他を尊重する心
H3	現代の政治、経済、国際関係に関する基本的な事柄や、本質、特質及び動向を捉える基本的な概念や理論を理解し、その知識を身に付けている。	現代の政治、経済、国際関係に関わる事柄から課題を見だし、望ましい解決の在り方について、社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえ公正に判断できる。	よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養い、我が国及び国際社会において国家及び社会の形成に、より積極的な役割を果たそうとする自覚を深めることができる。	国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図り、我が国及び国際社会において国家及び社会の形成に、より積極的な役割を果たそうとする自覚を深めることができる。	現代の政治、経済、国際関係に対する関心を高め、意欲的に課題を追究するとともに、国家・社会の一員として平和で民主的な社会生活の実現と推進について客観的に考察することができる。	
H2						
H1						

# SOZAN Global Can-do List (教科: 中学校 社会)

目指す生徒像 (教科)	我が国及び世界の様々な社会的事象に深い造詣を持ち、国際社会に主体的に生き平和で民主的な国家形成を形成するための自覚と資質・能力を持つ生徒					
育成する資質能力	認知的スキル			非認知的スキル (社会情緒的スキル)		
	自身が所属する社会の幸福を実現することができる			他者の幸福を創造し続けることができる		
	①幅広く深い教養	②課題発見・解決能力	③新たな価値を創造する力	④主体的に行動する力	⑤他者と協働する力	⑥自他を尊重する心
J3	<p>【歴史的分野】我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、近代・現代における各時代の特色を踏まえて理解し、その知識を身につける。</p> <p>【公民的分野】現代社会についての見方や考え方の基礎、現代の社会生活及び政治や経済の基本的な考え方、社会的事象の意義や役割、相互の関連などを理解し、その知識を身につける。</p>	<p>【歴史的分野】近代・現代における歴史的事象から課題を見だし、我が国の歴史の大きな流れや各時代の特色などを多面的・多角的に考察し、公正に判断して、その過程や結果を適切に表現できる。</p> <p>【公民的分野】現代の社会的な事象から課題を見だし、社会的な事象の意義や役割、相互の関連などを、解決すべき課題の解決策を、対立と合意、効率と公正などの見方や考え方を活用して、多面的・多角的に考察し様々な考え方を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現できる。</p>	<p>【歴史的分野】近代・現代における歴史的事象を、当時の主観的な視点と現在からの客観的な視点で俯瞰し、歴史的事象の歴史的意義と意味を理解し、これからの未来のために必要な価値基準を考えることができる。</p> <p>【公民的分野】公正と公平、対立と合意といった社会的なものの方考え方を元に、現実社会で起こりうる諸問題に対して、互いの価値観を尊重する態度と、物事の考え方を身につける。</p>	<p>学習した内容を整理して、自分なりのノートを作成することができる。</p> <p>自分の興味を持ったことについて、自ら進んで調べることができる。</p>	<p>グループ学習などで他者の意見と自分の意見を比較して、他者の意見を参考にしながらグループの意見を集約し、考えをまとめることができる。</p>	<p>他者の発言・発表を肯定的に受け入れることができ、自分の発言・発表を積極的にすることができる。</p> <p>自身や他者の意見や考えを客観的にとらえて、その良いところを見つけ出すことができる。</p> <p>社会的な見方考え方を身につけ、社会に対する興味関心を高め、国際社会を形成する社会の一員としての自覚を持つことができる。</p>
J2	<p>【地理的分野】世界の中での日本の位置、日本の領域の広がりとその現状・課題、日本の地域構成やさまざまな地域区分について理解し、それらの知識を身につける。</p> <p>世界と比べた日本の地域的特色について、世界的視野や日本全体の視野から見た「自然環境」「人口」「資源・エネルギーと産業」「地域間の結びつき」を理解し、その知識を身につける。</p> <p>【歴史的分野】我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、近世・近代における各時代の特色を踏まえて理解し、その知識を身につける。</p>	<p>【地理的分野】地球表面上における時差の存在、世界の中での日本の位置や広がり、日本国内のさまざまな地域区分の指標について、多面的・多角的に考察・判断し、その過程や結果を適切に表現できる。</p> <p>世界と比べた日本の地域的特色を、「自然環境」「人口」「資源・エネルギーと産業」「地域間の結びつき」の観点をもとに多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現できる。</p> <p>【歴史的分野】近世・近代における歴史的事象から課題を見だし、我が国の歴史の大きな流れや各時代の特色などを多面的・多角的に考察し、公正に判断して、その過程や結果を適切に表現できる。</p>	<p>【地理的分野】日本の地域的特色や世界的な視野や日本全体の視野から見ることで、自分たちの住む国土や地域についての価値を認識し、生かしていく方法を考えることができる。</p> <p>【歴史的分野】近世・近代における歴史的事象を、当時の主観的な視点と現在からの客観的な視点で俯瞰し、歴史的事象の歴史的意義と意味を理解し、これからの未来のために必要な価値基準を考えることができる。</p>	<p>板書されたことをノートに記述するだけでなく、先生の話や自分で調べた事柄などを参考に、学習した内容を自分なりに整理したノート作りをすることができる。</p> <p>調べ学習では与えられたテーマを元に、必要な資料を自分で見つけ出し、まとめることができる。</p>	<p>グループ学習などで他者の意見と自分の意見を比較して、他者の意見を参考にしながら自分の考えをまとめて答えを導き出そうとすることができる。</p>	<p>他者の発言・発表を肯定的に受け入れることができ、自分の発言・発表を積極的にすることができる。</p> <p>自身や他者の意見や考えを客観的にとらえて、その良いところを見つけ出すことができる。</p>
J1	<p>【地理的分野】世界の六大陸、三大洋を捉えるとともに、主要な国の名称と位置や緯度と経度のしくみ、さまざまな世界地図の特徴を理解できる。</p> <p>世界各地の人々の生活と環境の多様性について、自然及び社会的条件と関連づけた人々の生活のようすと変容を理解し、その知識を身につける。</p> <p>各州を大観する学習を通して、基礎的・基本的な知識を習得し、主題追究学習により、各州の地域的特色を理解して、世界の諸地域についてのイメージを構成できる。</p> <p>調査対象の国や地域の調査について、地域的特色とともに、世界の国や地域の調査を行う際の視点や方法を理解し、その知識を身につける。</p> <p>【歴史的分野】我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、古代・中世における各時代の特色を踏まえて理解し、その知識を身につける。</p>	<p>【地理的分野】国名や国旗、国境線の特徴などから、これらがさまざまな地理的事象と密接に関連していることを多面的・多角的に考察することができる。</p> <p>世界各地の人々の生活と環境の多様性を、自然及び社会的条件と関連づけた人々の生活のようすとその変容をもとに、多面的・多角的に考察し、適切に判断することができる。</p> <p>各州の地域的特色を明確にする主題を追究し、わが国との比較や関連をはかりながら、多面的・多角的な思考や判断を行うことができる。</p> <p>調査対象の国や地域の地域的特色を捉える適切な主題を設定して、世界の地域の調査を行う際の視点や方法をもちに多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現できる。</p> <p>【歴史的分野】古代・中世における歴史的事象から課題を見だし、我が国の歴史の大きな流れや各時代の特色などを多面的・多角的に考察し、公正に判断して、その過程や結果を適切に表現できる。</p>	<p>【地理的分野】世界の諸地域の学習や自然環境についての学習を通して、一般の共通性と地域的特色を理解し、ある特定地域の地理的事象について理解を深め、課題を見つけ、解決する方法を考えることができる。</p> <p>【歴史的分野】古代・中世における歴史的事象を、当時の主観的な視点と現在からの客観的な視点で俯瞰し、歴史的事象の歴史的意義と意味を理解し、これからの未来のために必要な価値基準を考えることができる。</p>	<p>板書された記述をノートに書くだけでなく、自分なりに気づいたことをメモするなど、工夫してノート作りができる。</p> <p>テーマに沿った調べ学習をして、自分で資料をさがして完成させることができる。</p>	<p>グループ学習などを通して、他者と意見交換を行ったり、教え合いや分担作業など協力して行うことができる。</p>	<p>他者の発言・発表を肯定的に受け入れることができ、自分の発言・発表を積極的にすることができる。</p>

# SOZAN Global Can-do List (教科： 数 学 )

目指す生徒像 (教科)	数学的活動を通して、事象を考察し表現する能力を高め、論拠に基づいて判断できる生徒					
育成する資質能力	認知的スキル			非認知的スキル (社会情緒的スキル)		
	自身が所属する社会の幸福を実現することができる			自他の幸福を創造し続けることができる		
	①幅広く深い教養	②課題発見・解決能力	③新たな価値を創造する力	④主体的に行動する力	⑤他者と協働する力	⑥自他を尊重する心
H3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・応用問題を体系的に理解するとともに、これまで学習した知識を基にして、様々な事柄を、数学的に解釈し、表現・処理することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題解決に向けて、既習の知識を数学的に関連付け、発展的に思考することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な人間の活動が数学と関わっていることに着目し、様々な事象に数学の構造を見だし、数学的思考・知識を生かして考察することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自ら考えた解答を基に、数学的な見方・考え方から論証に基づいて判断したり、数学の学習に対して自分の意見を見だし、評価・改善したりすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループ学習等の場面において、自分の考えを伝え合い、他者と協働しながら相手の考えを理解することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループ学習等の場面において、生徒同士が、数学的な教材で互いの考え方を認め合い、教え合い、学び合うことで、存在意義を認め合うことができる。</li> </ul>
H2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題の解決に当たって、学習した知識等を基に一般的な方策などを見つけて、それを適切に表現することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の持てる知識・技能をすべて活用して、課題解決に取り組み、数学的な資質・能力を伸ばすことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数学が様々な事象の考察に活用されていることを知り、現代社会における諸問題に対して、数学的思考・知識をどう生かしていくかを考えることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ある課題に関心を持ち、その解決に当たって、数学的な見方・考え方のよさを生かした自分の意見を見だし、それを発信することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループ学習等の場面において、自分の考えを相手に伝えることができ、また相手の考えを理解することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループ学習等の場面において、主体的に他者の意見や自分の意見を整理・統合し、よりよい方向にもっていくことができる。</li> </ul>
H1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、表現・処理することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題解決に向けて、既習の知識を関連付け、論理的に思考することができる。また、解決の過程や結果を批判的に考察し判断することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見だし、数理的に考察することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・粘り強く考え数学的論証に基づいて判断したり、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、学習に対して評価・改善したりすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・互いに自分の考えを表現し伝え合い、他者と協働しながら課題解決に向けた取り組みができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒同士が、互いの多様な考え方を認め合い、学び合うことで、より深い理解に到達することができる。</li> </ul>
J3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数の概念の幅を更に広げ、式についてより進んだ考え方や扱い方を理解し活用することができる。</li> <li>・図形の性質や計量について一層深く考察することや見いだした性質や定理を具体的な場面で活用することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身の周りの事象について数学的にとらえ、数学を用いて解決することができる。</li> <li>・解法や根拠となる事柄を精選することができる。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己の考えを分かりやすく伝えたり、相手の考えを基に考えたりすることができる。</li> <li>・コミュニケーションにおいて、話すだけでなく、読む人を意識した証明ができたり、積極的に数学用語を使って話したりすることができる。</li> <li>・話し合いを通して、より良い解法を導き出すことができる。</li> </ul>	
J2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既習事項の文字を用いた基本的な操作ができ、数量の関係を一般的、能率的に考察し、処理することができる。</li> <li>・図形の性質などを、観察、捜査や実験などの活動を通して見だし、それを論理的に確かめることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・問題の目的に合わせて必要な情報を収集し、問題解決のための手順・手段を精選することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の考えと他者の意見を比較し、より良い解法を見いだそうとすることができる。</li> <li>・課題学習などを通して、数学と他教科との関わりや、数学と現代社会との関わりを見いだそうとすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1つの問題をグループで話し合う中で、質疑したり、自己や他者の意見をまとめたり、他者の解法の良いところを取り入れたりと、積極的に意見交換ができる。</li> <li>・自分の考えを伝えることができ、他者の意見に耳を傾けることができる。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己の考えを分かりやすく伝えたり、相手の考えを取り入れようとしたりすることができる。</li> <li>・コミュニケーションにおいて、話すだけでなく、読む人を意識した証明や説明ができたり、積極的に数学用語を使って話したりすることができる。</li> <li>・話し合いを通して、より良い解法を導き出すことができる。</li> </ul>
J1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数の範囲を拡張し、文字を使った式の意味を知り活用することができる。</li> <li>・図形に対する直感的な見方や考え方を深め、論理的に考察し表現することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身の周りにある数学的な事柄に興味や関心をもち、解決のために既習事項を用いようとするすることができる。</li> </ul>				

# SOZAN Global Can-do List (教科: 理科)

目指す生徒像 (教科)	自然の事物や現象について幅広く理解し、目的意識を持って科学的に探究し、科学的根拠に基づき協働して思考、判断、行動することができる生徒					
育成する資質能力	認知的スキル			非認知的スキル (社会情緒的スキル)		
	自身が所属する社会の幸福を実現することができる			自他の幸福を創造し続けることができる		
	①幅広い深い教養	②課題発見・解決能力	③新たな価値を創造する力	④主体的に行動する力	⑤他者と協働する力	⑥自分を尊重する心
H3	<ul style="list-style-type: none"> <li>様々な事物・自然現象を、抽象的・数学的概念や科学的用語と関連付けて認識できる。</li> <li>観察・実験結果を定量的に体系化・法則化できるとともに、科学的概念、科学用語、法則、数学的手法を用いて様々な現象を論理的に推論・活用ができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>様々な自然現象を科学的な根拠に基づいて実験・観察を企画し実践することで、身の回りの様々な問題に対処することができる。</li> <li>より広い視点とより広い立場から物事を捉え、よりよい解決策を提案したり、判断したりできる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>様々な議論の中から現代の諸課題に対応した新たな価値を見出すことができる。</li> <li>科学技術が環境や社会に及ぼした影響を正しく評価し、持続可能な社会を構築するために科学技術をどのように役立てればよいか考えることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>目的意識を持って、より質の高い学び合いをすることができる。</li> <li>問題や課題を正しく認識・理解して、科学的な根拠に基づいて決断し、積極的に議論することができる。</li> <li>他の班の実験結果・解釈・意見について質問ができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>実験・観察・調査を定量的に行い、グラフや数式を用いて法則化した抽象的な概念を、科学の用語や数学的方法を用いて説明できる。</li> <li>科学用語や数式を用いて誤差も考慮しながら、自身の考えを班やクラスに伝えることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生命と自然環境を尊重するとともに、社会で起こる様々な出来事に興味・関心を持ち、科学技術と職業との関連を理解し、進路や職業選択に役立てることができる。</li> </ul>
H2	<ul style="list-style-type: none"> <li>様々な事物・自然現象を、抽象的概念や科学的用語と関連させて認識できる。</li> <li>観察・実験結果を定量的に体系化・法則化できるとともに、科学的概念、科学用語、法則などを活用して様々な現象を推論・活用ができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>事物・現象を科学的に捉えたり理解する知識や、定量的に捉える手法(精度の高い実験・観察・調査方法・グラフ化・定式化等の方法など)を身に付けている。</li> <li>実験・観察の誤差や限界を理解し、その原因を踏まえた上で科学的プロセスに適した精度の高い実験・観察を提案できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>科学技術が及ぼした環境や社会に及ぼした影響を理解し、希望の持てる社会のために科学技術がどうあるべきか考えることができる。</li> <li>様々な議論の中から現代の諸課題に対応した新たな価値を見出すことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>問題や課題を正しく認識・理解し、解決するために何が何をすべきかを考えて、より質の高い学び合いをすることができる。</li> <li>他の班の実験結果・解釈・意見について質問ができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>実験・観察・調査を定量的に行い、その結果をグラフや数式を用いて法則化した抽象的な概念を、科学の用語や数学的方法を用いて説明できる。</li> <li>安心して意見、質問、提案、討議ができる環境を作ることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生命と自然環境を尊重するとともに、社会で起こる様々な出来事に興味・関心を持ち、科学技術が様々な職業と関連していることを理解することができる。</li> </ul>
H1	<ul style="list-style-type: none"> <li>身の回りの事物・現象を、抽象的概念や科学的用語(事物名、現象名、法則名など)と関連させて理解できる。</li> <li>観察・実験結果を定量的に体系化・法則化できるとともに、科学的概念、科学用語、法則などを用いて様々な現象を説明できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>事物・現象を科学的に捉えたり理解する知識や、定量的に捉える手法(実験・観察・調査方法やグラフ化の方法など)を身に付けている。</li> <li>実験・観察の誤差を理解し、その原因を踏まえた上でより必要とされる精度の実験・観察を提案できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>社会で起こる様々な出来事に興味・関心を持ち、科学技術が様々な職業と関連していることを理解することができる。</li> <li>質問に科学用語や数式を用いて誤差も考慮しながら議論をすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>問題や課題を正しく認識・理解し、仲間に何を伝えることが必要かを考えて、より質の高い学びをすることができる。</li> <li>科学に興味を持ち、学んだ法則が実際にどんな形で生活の中に活かされているのか積極的に調べることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>実験・観察・調査を、数量を意識しながら班員と協力して行い、その結果をグラフ化・図式化などの方法でまとめる。</li> <li>結果を基に、他の班とも意見を出し合い抽象的な概念や科学の用語を使って、結論を導くことができる。</li> <li>安心して意見、質問、提案、討議ができる環境を作ることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生命と自然環境を尊重するとともに、環境保全や生活水準の向上に寄与しようとするすることができる。</li> <li>環境問題に科学的な視点で向き合い、人々が住みやすい生活環境に配慮して活動できる。</li> </ul>
J3	<ul style="list-style-type: none"> <li>身の回りに存在する事物や身の回りで生じる現象を、エネルギー・原子・遺伝子など抽象的概念とも関連させながら理解し、観察・実験の結果を原理・法則として整理し、科学的用語(事物名、現象名、法則など)との関連において理解できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>身の回りに存在する事物や身の回りで生じる現象について観察・実験を行い、その結果について規則性や普遍性を見つけられる。</li> <li>より適切な実験や観察を行うための改良方法や理解を深めるための実験・観察方法を提案できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>実験・観察・調査の基本操作を習得するとともに、結果を整理し、得た結果から自らの意見や考えを、抽象的な概念や科学の用語、図・グラフなどを用いながら説明できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>班・クラス内で安心して意見、質問、提案、討議ができる環境を作るとともに、安全に配慮し、より質の高い観察・実験に取り組み雰囲気作りができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生命と自然環境を尊重するとともに、環境保全や生活水準の向上に寄与しようとする姿勢が身に付いている。</li> <li>科学技術が様々な職業とも関連していることを理解し、将来の進路や職業選択に生かすことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>他の班の発表・解釈・意見について質問したり、質問に対して根拠を基に説明したりできる。</li> <li>発表や疑問に対して客観的な思考や判断をもとに科学的推論形式を意識した議論をすることができる。</li> </ul>
J2	<ul style="list-style-type: none"> <li>身の回りに存在する事物や身の回りで生じる現象を、観察・実験を行いながら科学の基本概念や原理・法則、多様性や規則性などとして整理し、科学的用語(事物名、現象名、法則など)との関連において理解できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>身の回りに存在する事物や身の回りで生じる現象を、観察・実験の対象として認識し、観察・実験の結果から規則性や普遍性を見つけることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>実験・観察・調査の基本操作を習得するとともに、グラフなどで表された結果を科学的に解釈して結論を説明できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>班員やクラスメートが安心して意見や疑問を述べたり、提案したりしやすい環境を作るとともに、安全を考慮した観察・実験を行うことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生命と自然環境を尊重する姿勢が身に付いている。</li> <li>科学技術が日常生活や社会を豊かにし、様々な職業とも関連していることを理解できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>他の班の発表・解釈・意見について質問したり、質問に対して根拠を基に説明したりできる。</li> <li>発表や疑問をもとに根拠を示しながら議論をすることができる。</li> </ul>
J1	<ul style="list-style-type: none"> <li>身の回りに存在する事物や身の回りで生じる現象を、観察・実験を行いながら科学の対象として意識・整理し、科学的用語(器具名や法則など)との関連において理解できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>身の回りに存在する事物や身の回りで生じる現象を、観察・実験の対象として認識し、観察・実験結果を自分の経験・知識に照らして解釈・表現できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>実験・観察・調査の基本操作を習得するとともに、グラフなどで表された結果や証拠を基に自らの意見や考えを説明できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>班員やクラスメートが安心して意見を述べられる雰囲気を作るとともに、安全に配慮して観察・実験を行うことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生命と自然環境を尊重する姿勢が身に付いている。</li> <li>科学技術が日常生活や社会を豊かにしていることを理解できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>他の班の発表・解釈・意見について質問したり、質問に対して根拠を基に説明したりできる。</li> <li>発表や疑問をもとに主体的に自分の意見と他者の意見を比較することができる。</li> </ul>

# SOZAN Global Can-do List (教科：保健体育(保健))

目指す生徒像(教科)	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深め、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく能力を持つ生徒					
育成する資質能力	認知的スキル			非認知的スキル(社会情動的スキル)		
	自身が所属する社会の幸福を実現することができる			自他の幸福を創造し続けることができる		
	①幅広く深い教養	②課題発見・解決能力	③新たな価値を創造する力	④主体的に行動する力	⑤他者と協働する力	⑥自他を尊重する心
H3						
H2	<p>・生涯を通じる健康、社会生活と健康を学び、その知識を、現状と課題を踏まえた考察ができる。</p> <p>・自己及び社会における健康問題に対して適切な意思決定・行動選択ができる。</p>	<p>健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し、判断するとともに、他者に伝える力を養う。</p> <p>・研究の過程で発見された新たな課題に対して解決していくことができる。</p>	<p>・研究の過程で発見された新たな課題に対して解決していくことができる。</p>	<p>・個人での課題解決、学習に取り組むことにより、今後の社会生活において、生涯を通じての各種の健康問題に対して自ら率先して取り組み解決することができる。</p> <p>・研究の過程で発見された新たな課題に対して解決していくことができる。</p>	<p>・個人研究の中で、クラスの仲間と情報、知識の共有を図るとともに、指導・助言・協力をを行い、クラス全体のレベルアップを図ることができる。</p>	<p>・生涯を通じる健康問題について、正しい知識を習得し、その課題と改善方法を考察し、社会に発信することができる。</p> <p>・習得した知識を元に、適切な意思決定・行動選択ができ、社会貢献に寄与することができる。</p>
H1	<p>・現代社会と健康を学び、その内容に対して現状と課題を踏まえた考察ができる。</p> <p>・自己及び社会における健康問題に対して適切な意思決定・行動選択ができる。</p>	<p>・グループでの課題解決学習により、自身を取り巻く健康課題について研究し、合理的かつ実用的な解決方法を見つけ出すことができる。</p> <p>・研究の過程で発見された新たな課題に対して解決していくことができる。</p>	<p>・自学自習、グループ研究の過程において、他者を尊重し、その発言、発案に対し、真摯に向き合い考察・行動ができる。</p>	<p>・グループ研究においてその目的・目標及び、班内での役割分担を明確にし、互いに協力して課題解決の達成を目指すことができる。</p>	<p>・課題解決学習において、研究課題とその研究方法、問題点などをよく理解し、課題解決学習が円滑に行えるよう努めることができる。</p>	<p>・現代社会における健康問題について、正しい知識を習得し、その課題と改善方法を考察し、社会に発信することができる。</p> <p>・習得した知識を元に、適切な意思決定・行動選択ができ、社会貢献に寄与することができる。</p>
J3	<p>健康な生活と疾病の予防として、生活習慣と健康、感染症の予防、個人の健康を守る社会の取組や健康と環境について理解し、それらに関わる基本的な技能を身に付けることができる。</p>	<p>健康と環境に関わる事象や健康情報などから自他の課題を発見し、疾病等のリスクを軽減したり、生活の質を高めたりすることなどと関連付けて解決方法を考え、適切な方法を選択するとともに道筋を立てて他者に表現できる。</p>	<p>健康と身体・環境に対する適応能力・至適範囲について、習得した知識を自他の生活に適用したり、課題解決に役立てたりして、熱中症などになるリスクを軽減し、健康を保持増進する方法を見いだすことができる。</p>	<p>健康と環境に関わる原則や概念を基に、収集した情報を整理したり、取得した知識を個人生活と関連付けたりして、自他の課題を発見することができる。</p>	<p>健康と環境について、課題の解決方法とそれを選択した理由などを、他者と話し合ったり、ノートなどに記述したりして、道筋を立てて伝え合うことができる。</p>	<p>飲料水や空気の衛生的管理や廃棄物の衛生的管理について、習得した知識を自他の生活に取り巻く環境とを関連付けたり、整理したりして、疾病等にかかるリスクを軽減し健康を保持増進する方法を選択することができる。</p>
J2	<p>健康な生活と疾病の予防として、生活習慣と健康、生活習慣病などの予防、喫煙、飲酒、薬物乱用と健康や傷害の防止について理解し、それらに関わる基本的な技能を身に付けることができる。</p>	<p>健康や傷害の防止に関わる事象や情報などから自他の課題を発見し、自他の危険の予測を基に、危険を回避したり、傷害の悪化を防止したりする方法を考え、適切な方法を選択し、伝え合うことができる。</p>	<p>健康や傷害に応じた適切な応急手当について、習得した知識や技能を傷害の状態に合わせて活用して、傷害の悪化を防止する方法を見いだすことができる。</p>	<p>健康や傷害の防止における事柄や情報などについて、保健に関わる原則や概念を基に整理したり、個人生活と関連付けたりして、自他の課題を発見することができる。</p>	<p>健康や傷害の防止について、自他の危険の予測や回避の方法と、それを選択した理由などを、他者に話し合ったり、ノートなどに記述したりして、道筋を立てて伝え合うことができる。</p>	<p>健康や交通事故、自然災害などによる傷害の防止について、習得した知識を自他の生活に適用したり、課題解決に役立てたりして、傷害を引き起こす様々な危険を予測し、回避する方法を選択することができる。</p>
J1	<p>健康の成り立ちと疾病の発生要因、生活習慣と健康、心身の機能の発達と心の健康について理解し、それらに関わる基本的な技能を身に付けることができる。</p>	<p>健康や心身の機能の発達と心の健康に関わる事象や情報から課題を発見し、疾病リスクを軽減したり、生活の質を高めたりすることなどと関連付けて、解決方法を考え、それらを伝え合うことができる。</p>	<p>健康や心身の機能の発達について、習得した知識を自他の生活に適用したり、課題解決に役立てたりして、発達の状況に応じた健康を保持増進する方法を見いだすことができる。</p>	<p>健康や心身の機能の発達と心の健康における事柄や情報などについて、保健に関わる原則や概念を基に整理したり、個人生活と関連付けたりして、課題を発見することができる。</p>	<p>健康や心身の機能の発達と心の健康について、課題の解決方法とそれを選択した理由などを、他者と話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて伝え合うことができる。</p>	<p>健康や心身の機能の発達と心の健康について、習得した知識や技能を自他の生活と比較したり、活用したりして、心身の健康を保持増進する方法や対処法を選択することができる。</p>



# SOZAN Global Can-do List (教科：保健体育(体育))

目指す生徒像(教科)	運動の合理的な実践を通して、合理的な運動についての知識を深めると共に、技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができ、公正・協力・責任・参画などに対する意欲を高く持ち、健康・安全を確保して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続することができる生徒					
育成する資質能力	認知的スキル			非認知的スキル(社会情緒的スキル)		
	自身が所属する社会の幸福を実現することができる			自他の幸福を創造し続けることができる		
	①幅広く深い教養	②課題発見・解決能力	③新たな価値を創造する力	④主体的に行動する力	⑤他者と協働する力	⑥自分を尊重する心
H3	<ul style="list-style-type: none"> <li>選択した種目について、そのルール、競技の特性をよく理解し、自ら練習計画を立案、作成することができる。</li> <li>周囲の環境をよく観察し、安全面に留意して活動することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自己、及びグループの特性を踏まえ、目標達成のための練習計画の作成、状況に応じた計画の変更判断が的確にできる。</li> <li>ゲームを通して発見された課題の克服に向けて練習のテーマを設定し、取り組むことができる。その種目を積極的に楽しもうとする態度がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自学自習、グループ活動の過程において、他者を尊重し、その発言、発案に対し、真摯に向き合い考察・行動ができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自主・自律の精神を持ち、自らが授業を作り上げていく自覚を持って活動をし、生涯スポーツの基盤を作ろうとしている。</li> <li>本時の目標、活動の内容をよく理解し、積極的に活動するよう班員に促すことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>設定した課題について、グループ内でよく話し合い、相互理解の下で活動できる。</li> <li>相互にアドバイスをし合い、目標達成に向けてグループのレベルアップを図ることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>グループ内でよく声を掛け合い、励まし合いながら活動ができる。</li> <li>班員のレベルに応じて、安全面に十分留意した活動ができる。</li> </ul>
H2	<ul style="list-style-type: none"> <li>種目について、そのルール、競技の特性をよく理解し、練習をすることができる。</li> <li>安全面に留意して、適切な判断の下、活動ができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>練習テーマを明確にし、技術の習得とチーム力向上に向けた取組ができる。</li> <li>与えられた課題に対し、自己、及びグループの特性に応じてアレンジされた練習をし、ゲームに生かすことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>取り組んでいる種目において、自己、及び、グループの目標を定め、合理的な活動を通じてその達成を目指し活動することにより、自らの成長の過程を自覚し、新たな価値を創造することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自主・自律の精神を持ち、自らが授業を作り上げていく自覚を持って活動をし、生涯スポーツの基盤を作ろうとしている。</li> <li>本時の目標、活動の内容をよく理解し、積極的に活動するよう班員に促すことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>設定された練習テーマについて、グループ内でよく話し合い、相互理解の下で活動できる。</li> <li>グループ内で気づいたこと、改善すべきことを積極的に発言できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>グループ内でよく声を掛け合い、励まし合いながら活動ができる。</li> <li>班員のレベルに応じて、安全面に十分留意した活動ができる。</li> </ul>
H1	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種目のルールを理解し、正しく実践することができる。</li> <li>用具、施設、設備の特性を知り、安全に留意して活動することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>活動の内容を理解し、自己、及びグループのレベルアップを図ることができる。</li> <li>目標を設定し、目標到達に向けて積極的に活動ができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>取り組んでいる種目において、自己、及び、グループの目標を定め、合理的な活動を通じてその達成を目指し活動することにより、自らの成長の過程を自覚し、新たな価値を創造することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自主・自律の精神を持ち、自らが授業を作り上げていく自覚を持って活動をし、生涯スポーツの基盤を作ろうとしている。</li> <li>本時の目標、活動の内容をよく理解し、積極的に活動するよう班員に促すことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>グループ内で積極的に発言をし、コミュニケーションを図ろうとしている。</li> <li>設定された練習テーマについて、グループ内でよく話し合い、相互理解の下で活動できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>グループ内でよく声を掛け合い、励まし合いながら活動ができる。</li> <li>班員のレベルに応じて、安全面に十分留意した活動ができる。</li> </ul>
J3	<ul style="list-style-type: none"> <li>習得した基礎的な知識、技術を生かし、戦術・戦略を自分たちで考え、試合運営も自分たちでできるようになる。</li> <li>より高い記録を狙って練習を工夫し挑戦することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>体力の向上についての課題の解決を図るために、動きを進展させ、運動を工夫したり、運動を組み合わせたりすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>運動やスポーツは、身体の発達やその技術の維持、体力の向上といった効果や自信の獲得、ストレスの解消などの心理的効果も期待できることを説明することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>リーダーを中心に、オリジナルルールを作り、それを基に、グループごとどの様に授業全体に結びつけていけるかを考え行動することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>話し合ったり、教え合ったりするなど、仲間と豊かに関わり合いながら、互いに役割を果たし、積極的に運動に取り組むことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>発達の段階や運動の特性や魅力に応じて、運動に関わる一般原則や運動に伴う事故の防止などの科学的な知識を理解し、活動することができる。</li> </ul>
J2	<ul style="list-style-type: none"> <li>運動の必要性を認識し、積極的に運動やスポーツの合理的な実践に取り組み、心身や社会性に及ぼす効果、体力を高める必要性などを理解できる。</li> <li>各種目のルールを理解し、正しく実践できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>運動の趣旨やねらい、適切な運動の行い方について理解し、課題に応じた運動の取り組み方を工夫することができる。</li> <li>運動技能上達のための合理的な練習方法を理解し、実践できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>課題解決を目指して取り組む中で得た知識・技能を他の種目や動きに応用し、実践することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1年次から行っている生徒間で褒めることや励ますことを継続し、クラス全体が良い雰囲気の中で授業ができるようになる。</li> <li>男女という性差だけでなく、生徒の個々の意欲や技術レベルの違いを考えながらクラス全体が良い雰囲気の中で授業が進むにはどうしたらよいかを話し合うことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>励まし合ったり、賞賛し合ったりするなど仲間と関わり合いながら、分担した役割を果たして積極的に運動に取り組むことができる。</li> <li>各種目の練習内容を理解し、仲間と確認をし、相互にアドバイスをしながら活動できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>発達の段階や運動の特性や魅力に応じて、運動に関わる一般原則や運動に伴う事故の防止などの科学的な知識を理解し、活動することができる。</li> </ul>
J1	<ul style="list-style-type: none"> <li>基礎体力、調整力や敏捷性を養いながら基礎的な運動能力や技術を身に付けることができる。</li> <li>色々な種目のルールを学び、考えながら身体を動かすことも学ぶことができる。</li> <li>出来なかったことが出来た時の楽しさを感じることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>体力とその要素について理解し、自己の体力の現状に応じて課題を見つけ、合理的に体力を高めるための取り組みができる。</li> <li>運動技能の習得は、合理的な練習が必要であることを理解し、活動できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>運動やスポーツを実際に「する」視点と共に、「見る」視点や「支える」という視点で多様な関わり方があることを踏まえ、運動やスポーツに積極的に関わることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>個人対個人では、技術レベルが高い生徒が他の生徒に対して教えることができる。</li> <li>小グループでは、ミスしたチームメイトへの励ましや、良いプレーを積極的に褒めることで、実技に対する不安感を取り除き、また、リーダーを中心にどのようにゲームを進めるか考えることができる。</li> <li>わざとでなくても衝突したら謝ったり声かけをしたりして相手のことを気遣うことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>仲間との交流を主にして、自分や仲間への気付き、調整をしながら、楽しく気軽に身体を動かし、仲間と関わり合いながら積極的に運動に取り組むことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>発達の段階や運動の特性や魅力に応じて、運動に関わる一般原則や運動に伴う事故の防止などの科学的な知識を理解し、活動することができる。</li> </ul>



## SOZAN Global Can-do List (教科：音楽)

目指す生徒像(教科)	音や音楽によって何かを伝え合う喜びを感じられる生徒					
育成する資質能力	認知的スキル			非認知的スキル(社会情緒的スキル)		
	自身が所属する社会の幸福を実現することができる			自他の幸福を創造し続けることができる		
	①幅広く深い教養	②課題発見・解決能力	③新たな価値を創造する力	④主体的に行動する力	⑤他者と協働する力	⑥自他を尊重する心
H3	音楽を形成している多様な要素やその働きを理解し、創造的に高度な聴音・新曲視唱に取り組むことができる。	楽曲にふさわしい演奏・歌唱について試行錯誤しながら正しい表現形態を自ら見つけることができる。	音楽を形作っている要素とその働きを理解し、自他のイメージを取り入れながら新たな方策を取り入れることができる。	楽曲にふさわしい表現法について、多様なイメージの中から独自の演奏を創出し、提案することができる。	多種の音楽や演奏や音楽についてそれぞれの良さや美しさを自分の言葉で表現し、共有することができる。	様々な音楽活動を通して、音楽を愛好する心情を育み、生涯にわたり生活や社会に生かして行くことができる。
H2	音楽を形成している多様な要素やその働きを理解し、創造的に高度な聴音・新曲視唱に取り組むことができる。	楽曲にふさわしい演奏・歌唱について試行錯誤しながら正しい表現形態を自ら見つけることができる。	音楽を形作っている要素とその働きを理解し、自他のイメージを取り入れながら新たな方策を取り入れることができる。	楽曲にふさわしい表現法について、多様なイメージの中から独自の演奏を創出し、提案することができる。	多種の音楽や演奏や音楽についてそれぞれの良さや美しさを自分の言葉で表現し、共有することができる。	様々な音楽活動を通して、音楽を愛好する心情を育み、生涯にわたり生活や社会に生かして行くことができる。
H1	芸術の諸活動を通して、高い感性と豊かな情操を身に付けている。	音楽の諸活動を通して、より良い表現やその方策を導き出す力を備えている。	様々な表現形態による音楽の特徴を理解し、自らのイメージの中から新たな表現法を提案することができる。	様々な音楽活動を通じて主体的・建設的な意見を出し、楽曲にふさわしい表現方法を提案することができる。	歌唱や器楽の演奏、創作などの活動を通じてお互いを理解し、高めあうことができる。	生涯にわたって音楽を愛好し、音環境へ高い意識を持ち、人間にとっての音楽の存在価値を考えることができる。
J3	様々な音楽的活動を通して高い感性と情操を有している。	音楽を形作っている要素の働きを理解し、イメージを持って音楽をとらえることができる。	音楽を形作っている要素とその働きを理解し、自他のイメージを取り入れながら新たな方策を取り入れることができる。	楽曲にふさわしい演奏法を考え、イメージに合った表現法を求めることができる。	楽曲にふさわしい演奏法をグループで話し合い、表現法を探ることができる。	様々な音楽活動を通じてグループやクラスで表現法を工夫し相手の考え方や見方を尊重することができる。
J2	文化的・歴史的など広い視野で音楽文化をとらえ理解することができる。	音楽を形作っている要素の働きを理解し、思いをのせて音楽をとらえることができる。	音楽の要素や働きを理解して思いや意図をもって表現を工夫することができる。	表現したい思いや意図を持ち、試行錯誤しながらそれらをもとめることができる。	表現したい思いや意図を持ち他者の意見を取り入れて演奏をまとめることができる。	他者の意見を取り入れながら、自己のアイデアを提案し、より良い音楽活動を行うことができる。
J1	表現や鑑賞を通じて日本や世界の音楽文化について理解する事ができる。	曲種に応じた奏法や諸活動を通じて音楽の良さを味わうことができる。	表現したいイメージを持ち、意図をもって活動することができる。	様々な表現方法を知り、曲想に合った演奏を工夫することができる。	イメージを持ってアイデアを提案し、仲間の意見を理解することができる。	より良い練習方法を工夫したり提案したりして、お互いに楽しみ高め合うことができる。

## SOZAN Global Can-do List (教科：美術)

目指す生徒像(教科)	造形活動を楽しみ、自他の文化を尊重し、主体的に表現できる生徒					
育成する資質能力	認知的スキル			非認知的スキル(社会情緒的スキル)		
	自身が所属する社会の幸福を実現することができる			自他の幸福を創造し続けることができる		
	①幅広く深い教養	②課題発見・解決能力	③新たな価値を創造する力	④主体的に行動する力	⑤他者と協働する力	⑥自他を尊重する心
H3	国際的な視点で美術文化について理解を深め、それを尊重することができる。	表現と鑑賞の活動において広い視点立って創造的に主題を生成し、造形的に表現することができる。	美術の創造活動において、新しい価値に気づきアイデアを構想し、造形的に表現することができる。	社会の中で美術のよさに気づき、主体的に美術に興味を持ち探求できる。	社会の中で他者と幅広く関り、造形的活動を通じてお互いを理解し、協力し合うことができる。	芸術作品の良さを味わい、感動する心を持ち、共感する心を通して人間関係を豊かにする。
H2	表現と鑑賞の活動を通じて、自他の美術文化について理解を深め、それを尊重できる。	表現と鑑賞の活動において課題に気づき、創造的に主題を生成し、造形的に表現することができる。	美術の創造活動において、新しいアイデアを構想し、造形的に表現することができる。	社会の中で美術のよさに気づき、主体的に美術に興味を持つことができる。	身近な生活の中で他者と幅広く関り、造形的活動を通じてお互いを理解し、協力し合うことができる。	感動する心を持ち、共感する心を通して人間関係を豊かにする。
H1	表現と鑑賞の活動を通じて美術の楽しさや創造の喜びを味わうことができる。	表現と鑑賞の活動において主題を生成し、造形的に表現することができる。	美術の創造活動において自ら発想し、造形的に表現することができる。	身近な生活の中で主体的に美術に興味を持つことができる。	造形的活動を通じてお互いを理解し、高めあうことができる。	感動する心を持ち、互いの作品の優れたところを見つけようとするすることができる。
J3	表現と鑑賞の活動を通して自然の造形、美術作品や文化遺産などについて理解や見方を深めることができる。	自他の文化を尊重し、主題を考え、造形的に表現することができる。	材料や用具の特性を生かし、表現意図に合う新たな表現方法を工夫して表現することができる。	自然の造形、文化遺産などについて見方を深め、美術とのかかわりに関心を持つことができる。	造形的活動を通じてお互いを認め、理解しあうことができる。	表現や鑑賞の活動を通して、作品の優れたところを尊重したり伝えたりすることができる。
J2	表現と鑑賞の活動を通して日本や世界の美術文化について主体的に調べることができる。	美術館や博物館の役割を知り、魅力や問題点を考え、発信することができる。	美術作品や身近なデザインに理解や見方を深め、表現方法を創意工夫し、創造的に表現することができる。	表現や鑑賞の能力を高めるために主体的に学習に取り組むことができる。	意見交換しながらよりよい表現活動を目指すことができる。	表現や鑑賞の活動を通して、作品のよさや工夫点を認め尊重することができる。
J1	表現と鑑賞の活動を通し身の回りや日本の美術文化について理解を深めることができる。	目的や機能などを基に豊かに発想し、形や色彩の構成を工夫して練ることができる。	美術の創造活動において、意図に応じて表現方法を創意工夫できる。	表現や鑑賞の能力を身に着けるために主体的に学習に取り組むことができる。	表現や鑑賞の活動において、自分の考えを持ち、他者と意見交換することができる。	表現や鑑賞の活動を通して、自他の見方や捉え方を理解することができる。

# 2021\_SOZAN Global Can-do List (教科: 外国語・英語)

目指す生徒像 (教科)	<b>グローバルリーダーをめざし、様々な視点から情報を収集し、課題を正しく理解し、社会貢献・国際貢献に寄与するための意欲を高め、英語で自分の考えを表明することができる。(中)</b> <b>グローバルリーダーとして、様々な視点から情報を収集し、適切に課題を設定し、対話や議論を通じて社会貢献・国際貢献に寄与するための方策について英語で意見を交換できる。(高)</b>					
育成する資質能力	認知的スキル			非認知的スキル (社会情動的スキル)		
	自身が所属する社会の幸福を実現することができる			自他の幸福を創造し続けることができる		
	①幅広く深い教養	②課題発見・解決能力	③新たな価値を創造する力	④主体的に行動する力	⑤他者と協働する力	⑥自他を尊重する心
H3	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書で扱っている内容や情報だけでなく、それに関連する課題について深く調べ、その内容をディスカッションやプレゼンを通して他者と共有し、理解を深めることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書で扱っている価値観に関連する話題を自分で発見し、そのつながりについて深く考察することができる。</li> <li>それらをつなぐ新たな価値を発見することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書で扱っている価値観に対して自ら課題や疑問点を指摘することができる。</li> <li>教科書で扱っている価値観に対して、自分の考えを具体的に自分の知識や理由を添えて述べるることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自己の学習方法が確立されており、自ら主体的な課題を設定し、さらに深い学びにつながるように、自律して学習することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>グループワーク・ペアワークにおいて相互に敬意を払いながら議論をすることができる。</li> <li>共通の課題に対して、その解決に向けた考えをグループやペアでまとめることができる。</li> <li>多様な価値観を受け入れることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>グローバルな課題について深く理解し、それについてつねに課題意識を持っており、さまざまな視点から考えることができる。</li> </ul>
H2	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書で扱っている内容や情報だけでなく、それらに関連のある素材の内容についてもそのつながりを理解し、そのつながりを自分の言葉で表現することができる。</li> <li>教科書で扱っている内容や情報に関連する素材をその場で読んだり、聞いたりして理解し、その内容を説明することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書で扱っている価値観に関して自ら課題や疑問点を指摘することができる。</li> <li>教科書で扱っている価値観に対して、自分の考えを具体的に自分の知識や理由を添えて述べるることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自己の学習を振り返り、適切に自己評価しながら、学習上の課題を設定することができる。</li> <li>学習上の課題に対して、具体的に対処することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>グループワーク・ペアワークにおいて自ら主体的に役割を理解し、議論することができる。</li> <li>共通の目的達成に向けて他者に働きかけることができる。</li> <li>自分とは異なる価値観を発見することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>グローバルな課題について知識があり、我が国だけでなく他の国や自分や自分以外の立場から論理的に考えることができる。</li> <li>その問題について自分どう関わることができるか考えることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>グローバルな課題について学び、その現状を理解することができる。</li> <li>その問題について自分の意見を持つことができる。</li> </ul>
H1	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書で扱っている内容や情報について読んだり、聞いたりして理解し、その内容を自分の言葉で表現することができる。</li> <li>教科書で扱っている内容や情報について読んだり、聞いたりして理解したものを、そのまま再現することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書で扱っている価値観に対して、自分の考えを簡単に述べるることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自己の学習を振り返り、適切に自己評価することができる。</li> <li>自己の学習上の課題を発見することができる。</li> <li>学習上の課題を克服するために試行錯誤することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>グループワーク・ペアワークにおいて与えられた役割を果たすことができる。</li> <li>多様な文化や価値観に関心を示すことができる。</li> <li>学習した内容に関して、課題や疑問点を見出し、他者と情報交換することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>グローバルな課題について学び、その現状を理解することができる。</li> <li>その問題について自分の意見を持つことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>グローバルな課題について学び、その現状を理解することができる。</li> <li>その問題について自分の意見を持つことができる。</li> </ul>
J3	<ul style="list-style-type: none"> <li>英語を通して、世界や地球規模の諸課題とその解決策の現状を多面的・多角的に理解することができる。</li> <li>学習内容をもとに情報の収集と分析、根拠に基づいた整理を行い、自分の考えを適切にまとめることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>世界や地球環境の現状・実態から、自分で課題を発見・設定し、解決のために必要な情報を収集して、根拠を明確にした上で、その解決策を英語で表明できる。</li> <li>他者から提示された解決策について、多角的・多面的に捉え、より良い解決策について意見交換ができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書および発展教材等の内容について、国際的な文化の違いも含めて構造的に理解し、クリティカルに思考して建設的な案を構想できる。</li> <li>グローバルリーダーとして社会貢献・国際貢献に寄与するための具体的な方策について英語で意見表明できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>題材を自分事としてとらえ、主体的に議論や話し合いに参加し、課題解決や現状改善のための提言を英語で行うことができる。</li> <li>議論や話し合いにおいて、相手に考えを求めたり、話題を広げたり深めたりするなど、対話を主体的に行うことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>対話や議論が円滑に図られるよう、タイムマネジメントをしながら、他者の意見を引き出し、アイディアをまとめたりできる。</li> <li>グループやクラス全体を見て、自分の役割を考えながらコミュニケーション活動をファシリテートし、協働で新たな問題の発見・クリエイティブな解決策の考案ができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>世界の中の日本人としての自覚を持ち、国際的視野に立って、世界に暮らす人々の平和と幸福に貢献することができる。</li> <li>相手の意見を尊重し、同調や反論をしながら建設的かつ協動的に議論を進めることができる。</li> </ul>
J2	<ul style="list-style-type: none"> <li>英語を通して、世界や地球規模の諸課題とその解決策の現状を理解することができる。</li> <li>学習内容をもとに情報の収集と分析、根拠に基づいた整理を行い、自分の考えを持つことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本の現状・実態から自分で課題を発見・設定し、解決のために必要な情報を収集した上で、理由を付けてその解決策を英語で提案できる。</li> <li>他者から提示された解決策について、理由を付けて賛否を表明しながら意見交換ができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書および発展教材等の内容について、国際的な文化の違いも含めて正確に理解することができる。</li> <li>グローバルリーダーとして社会貢献に寄与するための具体的な方策について英語で意見表明できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>社会的な話題や題材の学習を通して、感じたこと、考えたことをもとに自分の考えをまとめ、英文の引用や例示、理由付けをするなどして主体的に友達と意見交換をすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>対話や議論が円滑に図られるよう、他者の意見を引き出し、アイディアをまとめたりできる。</li> <li>グループやクラス全体を見て、自分の役割を考えながらコミュニケーション活動をコーディネートし、協働で新たな問題の発見ができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>世界の様々な国の文化や習慣に興味を持ち、異なる考えや価値観を尊重することができる。</li> <li>相手の立場や気持ちを考え、相手の意見に相槌を返しながら確認し、つなぎ言葉や言い換えを効果的に用いて意見交換をすることができる。</li> </ul>
J1	<ul style="list-style-type: none"> <li>英語を通して、身の回りの諸課題とその解決策の現状を理解することができる。</li> <li>学習内容をもとに、与えられた情報について正確に理解し、分析することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>身の回りの現状・実態から自分で課題を発見・設定し、理由を付けて、その解決策を英語で提案できる。</li> <li>他者から提示された解決策について、質疑応答ができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書および発展教材等の内容について、国際的な文化の違いも含めて正確に理解することができる。</li> <li>グローバルリーダーとして社会貢献のあり方について英語で提案できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手・話し手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてやりとりすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>対話や議論が円滑に図られるよう、自ら進んで意見を述べたり、アイディアをまとめたりできる。</li> <li>グループやクラス全体を見て、自分の役割を考えながらコミュニケーション活動をコーディネートできる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分と異なる意見も大切にし、寛容な心を持って謙虚に他者に学ぶことができる。</li> <li>声の大きさや視線、身振り・手振り等、自分の意見や考えを相手にわかりやすく伝えるための工夫をすることができる。</li> </ul>

# SOZAN Global Can-do List (教科：家庭)

目指す生徒像 (教科)	生活の自立に向けて主体的に活用できる知識と技術の習得し、生活の営みに係る見方・考え方を働かせつつ、家庭や地域など様々な場面において課題を設定し、解決へ向けて実践でき、グローバルリーダーとして貢献できる生徒					
育成する資質能力	認知的スキル 自身が所属する社会の幸福を実現することができる			非認知的スキル (社会情緒的スキル) 自他の幸福を創造し続けることができる		
	①幅広く深い教養	②課題発見・解決能力	③新たな価値を創造する力	④主体的に行動する力	⑤他者と協働する力	⑥自他を尊重する心
H1	<ul style="list-style-type: none"> <li>各分野において日本の文化・伝統とともに世界の各地域の文化等についても理解し、SDGsの実現を目指す社会の一員として、循環型社会推進のためにどうあるべきか理解することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭や地域の生活の中で生じる課題を生活活動や生活資源と関わらせながら、主体的に解決することができる。</li> <li>発表を意識しながら必修課題をレポートにまとめ、自分の実践内容を分かりやすく発表し、伝えることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>家族や家庭、衣食住、消費や環境などに係る生活事象を、協力・協働、健康・快適・安全、生活文化の継承・創造、持続可能な社会の構築等の視点で捉え、より良い生活を営むために工夫することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各自の家庭生活の中で課題を見つけてテーマを設定し、生活を充実向上させるために主体的に計画を立てて実践し、反省・評価をして次の課題へと発展させることができる。</li> <li>各分野の実習等で習得した知識及び技能を自らの生活に活用しようとする態度を身につけることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて主体的に家庭や地域の生活を創造する力を身につけることができる。</li> <li>班単位で行う実践活動などにおいて他者からの意見を踏まえながら実践活動を評価・改善することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各分野に関して、環境に配慮した実践的な行動について考えたり、持続可能な社会を目指す上で必要な一人ひとりの行動について理解を深めたりすることができる。</li> <li>実習等や家庭生活で実践することができる。</li> <li>家庭クラブ活動をはじめ、様々な社会貢献活動に積極的に参加することができる。</li> </ul>
J3	<ul style="list-style-type: none"> <li>持続可能な社会の構築や協力・協働・健康・快適・安全、生活文化の継承などの視点をもって、幼児の成長や消費生活・環境を理解し、それらに係る課題解決に必要な技能を身に付けることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>家族・家庭生活や消費生活の中から問題を見いだして見通しをもって課題を設定し、持続可能な社会の構築や協力・協働・健康・快適・安全、生活文化の継承などの視点から解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭生活を工夫して課題解決に向けて実践、評価・改善する中で、生活の楽しみや豊かさを見いだすことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>将来の生活を見据えて、家族・家庭生活や消費生活・環境についての知識及び技能を進んで習得し、自分の生活の中で積極的に活用することができる。</li> <li>課題解決に向けて、よりよい方法を見いだそうと自分から調べたり考えたりして、粘り強く取り組むことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>実習やグループワークにおいて、他者の意見を取り入れてよりよい方法を見つけ、目的達成に向けて進めることができる。</li> <li>他者との議論や協働により、新たな問題発見や解決方法を見いだすことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>よりよい社会をつくる当事者であり、日本の生活文化を次世代へ継承する立場から、課題を見つけ、解決策を考え評価・改善することができる。</li> </ul>
J2	<ul style="list-style-type: none"> <li>持続可能な社会の構築や健康・快適・安全、生活文化の継承などの視点をもって、衣食住や消費生活・環境を理解し、それらに係る課題解決に必要な技能を身に付けることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>衣食住や消費生活の中から問題を見いだして見通しをもって課題を設定し、解決策を構想して実践を評価、他者からの意見を踏まえるなどして改善でき、考察したことを論理的に表現できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>持続可能な社会の構築や健康・快適・安全、生活文化の継承や生活経験などを結び付けて、自分や家族の衣食住や消費生活をよりよくしようと工夫することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>これからの生活に向けて衣食住や消費生活・環境についての知識と技能を進んで習得し、自分の生活の中で積極的に活用することができる。</li> <li>課題解決に向けて、よりよい方法を見いだそうと自分から調べたり考えたりして、粘り強く取り組むことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>グループワークにおいて、全体を見て対等な立場で意見を交わせるように配慮し、よりよい方法を考えることができる。</li> <li>他者との議論や協働により、新たな問題発見や解決方法を見いだすことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本の生活文化を次世代へ継承する立場であることを自覚して、学習に取り組むことができる。</li> <li>持続可能な社会の構築などの社会的な問題を自分の生活と結び付けて解決に向けてできることを実践できている。</li> </ul>
J1	<ul style="list-style-type: none"> <li>持続可能な社会の構築や健康・快適・安全、生活文化の継承などの視点をもって、家庭生活や食生活を理解し、それらに係る課題解決に必要な技能を身に付けることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>家族・家庭生活や食生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想して実践を評価・改善し、考察したことを根拠や理由を明確にして説明や発表ができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活経験などを結び付けて、自分の家族・家庭生活や食生活をよりよくしようと工夫することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>これからの生活に向けて家族・家庭生活や食生活についての知識と技能を進んで習得し、自分の生活の中で積極的に活用することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>グループワークにおいて、自分の意見を出したり、他者の意見を聞いたりしてよりよい方法を考えることができる。</li> <li>また、自分の役割を理解し、他者と協力して目的達成することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>家族の一員としてだけでなく、社会の一員としての自分の役割を自覚し、責任をもって家庭生活を営むことができる。</li> </ul>